

<提出資料一覧>

病院名: 地方独立行政法人 大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター

【小児がん拠点病院 指定更新申請書(様式)】				
		様式2	(指定)	問い合わせ先
✓		様式3	(指定)	病院基本情報
✓		様式3	(指定)	病院機能
【添付資料】 ※各別紙に記載の有無および別添資料の有無をチェックする欄があります。表紙に反映されていますので、該当のファイルについて漏れがないか確認してください。				
記載有無	別添資料有無	資料番号	様式	内容
なし		別紙1	(指定)	先進医療への対応状況(小児がんに関するもの)
あり		別紙2	(指定)	各種小児がんの情報
あり		別紙3	(指定)	がんセンターの体制および開催実績
あり	なし	別紙4	(任意様式)	長期にわたり診療するための具体的な診療体制
あり	なし	別紙5	(任意様式)	AYA世代への診療提供体制
あり		別紙6	(指定)	化学療法のレジメンを審査し、組織的に管理する委員会の組織・体制
あり		別紙7	(指定)	緩和ケアチームの組織・体制
あり	なし	別紙8	(任意様式)	緩和ケアチームへの患者紹介の手順
あり		別紙9	(指定)	緩和ケア外来の状況
あり		別紙10	(指定)	緩和ケア病棟の状況
あり	なし	別紙11	(任意様式)	地域の医療機関との連携協力体制
あり		別紙12	(指定)	小児がんに対して、手術、放射線療法または化学療法に携わる専門的な知識および技能を有する医師によるセカンドオピニオンを提示する体制
あり		別紙13	(指定)	セカンドオピニオンの問い合わせ窓口
あり	なし	別紙14	(任意様式)	小児がん患者およびその家族が語り合うための場の設定状況
あり		別紙15	(指定)	小児がん患者およびその家族が語り合うための場
あり		別紙16	(指定)	診療実績等
あり		別紙17	(指定)	小児がんに関するカンファレンスや勉強会等の開催状況
あり		別紙18	(指定)	小児がんに関する研修プログラムの状況
あり		別紙19	(指定)	相談支援センターの体制
あり	なし	別紙20	(任意様式)	相談支援センターの状況
あり		別紙21	(指定)	相談支援センターの問い合わせ窓口
あり		別紙22	(指定)	小児がん患者団体との連携
あり		別紙23	(指定)	地域住民へのメッセージ
あり		別紙24	(指定)	臨床研究を支援する専門の各部門のメンバー
あり		別紙25	(指定)	臨床研究の問い合わせ窓口
あり		別紙26	(指定)	臨床研究の実施状況
あり	あり	別紙27	(任意様式)	教育支援、復園・復学支援の状況
あり	なし	別紙28	(任意様式)	長期滞在施設またはこれに準じる施設

問い合わせ先

病院名 (表紙の病院名を反映)	地方独立行政法人 大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター
--------------------	--------------------------------

所属部署名・役職	医事課 担当係長
担当者名	藤井 京子
電話	06-6929-1221
FAX	06-6929-0886
e-mail	k-fujii@osakacity-hp.or.jp

※本ページ以外は公開致しません。

小児がん拠点病院 指定更新申請書

平成28年9月1日時点について記載

病院名	地方独立行政法人 大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター	
よみがな	ちほうどくりつぎょうせいほうじん おおさかしみんびょういんきこう おおさかしりつそうごういりょうせんたー	
郵便番号	〒 534-0021	
住所	大阪府	大阪市都島区都島本通2丁目13番22号
よみがな	おおさかしみやこじまくみやこじまほんどおり2ちょうめ13ばん22ごう	
交通アクセス	最寄り駅1	大阪市営地下鉄谷町線「都島」駅 2番出口西へ3分
	最寄り駅2	JR大阪環状線「桜ノ宮」駅 東出口北東へ7分
	最寄り駅3	
	最寄り駅4	
	最寄り駅5	
	最寄りバス停1	市バス「総合医療センター前」下車すぐ
	最寄りバス停2	
	最寄りバス停3	
	最寄りバス停4	
	最寄りバス停5	
インターチェンジ1	阪神高速12号守口線長柄ランプ(北行き)出口から2つ目信号「樋之口町」右折	
インターチェンジ2		
インターチェンジ3		
インターチェンジ4		
インターチェンジ5		
電話(代表)	06-6929-1221	
FAX(代表)	06-6929-2041	
e-mail(代表)	xc0001@osakacity-hp.or.jp	
HPアドレス	http://www.osakacity-hp.or.jp/ocgh/	
開設	開設者	地方独立行政法人 大阪市民病院機構 理事長 瀧藤伸英

開設年月日	和暦	平成	26	年	10	月	1	日				
面積	土地(m ²)	30,494	m ²	建物(m ²)	91,424	m ²						
診療科	開設診療科数	58										
診療科名(具体的に記載)	総合診療科、感染症内科、乳腺外科、耳鼻咽喉科、眼科、口腔外科、整形外科、形成外科、皮膚科、婦人科、精神神経科、糖尿病内科、内分泌内科、腎臓・高血圧内科、泌尿器科、透析部、脳神経外科、脳血管内治療科、神経内科、循環器内科、心臓血管外科、呼吸器内科、呼吸器外科、消化器内科、肝臓内科、消化器外科、肝胆膵外科、腫瘍内科、血液内科、緩和医療科、放射線腫瘍科、産科、新生児科、小児総合診療科、小児代謝・内分泌内科、小児血液腫瘍科、小児神経内科、小児循環器内科、小児不整脈科、小児外科、小児整形外科、小児泌尿器科、小児心臓血管外科、小児脳神経外科、小児眼科、小児耳鼻咽喉科、小児形成外科、小児言語科、児童青年精神科、小児救急科、放射線診断科、病理診断科、リハビリテーション科、遺伝子診療部、麻酔科、集中治療部、救命救急部、初期急病診療部											
外来診療受付時間	曜日	月曜日～金曜日	時間	8	時	45	分	～	11	時	00	分
	曜日		時間		時	00	分	～		時	00	分
	曜日		時間		時	00	分	～		時	00	分
外来診療時間	曜日	月曜日～金曜日	時間	9	時	00	分	～	17	時	00	分
	曜日		時間		時	00	分	～		時	00	分
	曜日		時間		時	00	分	～		時	00	分
休診日	毎週土、日曜日、その他(年末年始、祝日)											
初診時の予約	一部の診療科で必要			(すべての診療科で必要／一部の診療科で必要／不要)								
初診時の紹介状の要否	すべての診療科で必要			(すべての診療科で必要／一部の診療科で必要／不要)								
病床数	総病床数	1,063	床									

診療実績 年間(平成27年1月1日～12月31日)の延べ数を計上する。

年間新入院患者数 ※1	5,493	人
年間新入院小児がん患者数 ※1	709	人
年間新入院患者数に占める小児がん患者の割合	12.9	%
小児がん入院患者数 ※2	728	人
小児がん入院患者在院延べ日数 ※2	10,077	日
小児がん入院患者における再発患者数 ※3	182	人
外来小児がん患者数 ※4	9,695	人
緩和ケアチームが新規で診療を実施した小児がん患者数 ※5	76	人
セカンドオピニオンの対応を行った小児がん患者数 ※5	25	人
他施設から紹介され受け入れた小児がん患者数 ※5	154	人
小児がん患者の紹介を受けた医療機関数	111	機関
小児がん患者の他施設への紹介患者数 ※6	153	人
小児がん患者を紹介した医療機関数	139	機関

- ※1 18歳以下を対象とする。年間新入院患者数は総数を計上する。
- ※2 入院患者数は延べ数で計上する。なお、同一患者が当月中に2回入院した場合には2件とし、入院した患者がその日のうちに退院あるいは死亡した場合も計上する。
- ※3 18歳以下を対象とする。初回治療後に再発もしくは病態が増悪した入院患者数を延べ数で計上する。初回治療入院中に再発もしくは病態が増悪した場合も計上する。
- ※4 診断時18歳以下の診断例とする。当年の診療録の作成または記載の追加を行った、新来もしくは再来小児がん患者の延べ数を記入する。同一患者が2つ以上の診療科を受診し、それぞれの診療科で診療録の作成または記載の追加を行った場合、それぞれの外来患者として計上する。
- ※5 診断時18歳以下の診断例とする。
- ※6 診断時に18歳以下であった患者を計上するが、紹介時には18歳を超えていても構わない。

がんに関する専門外来の名称

小児血液腫瘍外来

届出された先進医療の状況

先進医療への対応状況(小児がんに関するもの)

別紙1

職員数

総数(事務職員を含む)

2,070 人

人数 うち常勤(※)

医師	423	390
歯科医師	5	5
薬剤師	44	43
保健師	1	0
看護師	1,090	1,070
准看護師	1	0
理学療法士	23	23
作業療法士	3	3
視能訓練士	6	6
言語聴覚士	12	9
義肢装具士	0	0
診療放射線技師	50	50
臨床検査技師	62	60
衛生検査技師	0	0
臨床工学技士	16	16

※常勤とは当該医療機関で定めている1週間の就業時間すべてを勤務している者をいい、正規・非正規は問わないものとする。ただし、当該医療機関で定めている就業時間が32時間に満たない場合は、常勤とはみなさない。

管理栄養士
 栄養士
 社会福祉士
 精神保健福祉士
 介護福祉士
 保育士

9	9
0	0
10	10
4	4
0	0
6	6

人数 うち常勤(※)

日本小児血液・がん学会 専門医
 日本小児血液・がん学会 指導医
 日本小児血液・がん学会 暫定指導医
 日本小児血液・がん学会 認定外科医
 日本小児外科学会 専門医
 日本小児外科学会 指導医
 日本小児科学会小児科 専門医
 日本小児神経学会 小児神経専門医
 日本脳神経外科学会 脳神経外科専門
 日本病理学会 病理専門医
 日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医
 がん治療認定医機構 がん治療認定医
 がん治療認定医機構 暫定教育医
 日本放射線腫瘍学会 認定医
 日本緩和医療学会 緩和医療専門医
 日本看護協会 がん看護専門看護師
 日本看護協会 小児看護専門看護師
 日本看護協会 がん化学療法看護認定看護師
 日本看護協会 緩和ケア認定看護師
 日本看護協会 がん性疼痛看護認定看護師
 日本病院薬剤師会 がん薬物療法認定薬剤師
 日本医療薬学会 がん専門薬剤師
 日本臨床細胞学会 細胞検査士
 日本医学放射線学会 医学物理士
 日本放射線治療専門放射線技師認定機構 放射線治療専門放射線技師
 日本臨床心理士資格認定協会 臨床心理士
 チャイルドライフスペシャリスト
 ホスピタルプレイスペシャリスト

1	1
1	1
2	2
4	3
5	4
4	3
49	48
6	5
11	10
3	3
5	5
50	49
9	9
0	0
2	2
1	1
2	2
4	4
2	2
1	1
3	3
1	1
9	9
2	2
4	4
12	12
0	0
1	1

※常勤とは当該医療機関で定めている1週間の就業時間すべてを勤務している者をいい、正規・非正規は問わないものとする。ただし、当該医療機関で定めている就業時間が32時間に満たない場合は、常勤とはみなさない。

1 診療体制	
(1) 診療機能	
① 集学的治療の提供体制および標準的治療等の提供	
ア 小児に多いがん、再発したがん、治癒の難しいがんおよびその他各医療機関が専門とする小児がんについて、手術療法、放射線療法および化学療法を効果的に組み合わせた集学的治療および緩和ケアを提供する体制を有するとともに、各学会の診療ガイドラインに準ずる標準的治療（以下「標準的治療」という。）等小児がん患者の状態に応じた適切な治療を提供している。 専門とするがんについて別紙2に記載すること。	A はい (はい/いいえ)
イ 小児がん患者の病態に応じたより適切ながん医療を提供できるよう、カンサーボード（手術療法、放射線療法および化学療法に携わる専門的な知識および技能を有する医師その他の専門を異にする医療従事者等によるがん患者の症状、状態および治療方針等を意見交換・共有・検討・確認等するためのカンファレンスをいう。以下同じ。）を設置し、定期的開催している。 カンサーボードの体制および開催実績について別紙3に記載すること。	A はい (はい/いいえ)
ウ 外来で長期にわたり診療できる体制を整備すること。さらに、地域の医療機関等との連携協力体制を構築すること等により、小児がん患者に対して、成人後も含めて、長期にわたり診療を提供できる体制を構築している。 長期フォローアップ外来（小児がん経験者の健康管理、晩期合併症の予防、疾病の早期発見・早期治療のための外来）を開設している。 長期にわたり診療するための具体的な診療体制について別紙4に記載すること。 AYA世代への診療提供体制（自施設・他施設の成人診療科との連携状況）について別紙5に記載すること。	A はい (はい/いいえ) - はい (はい/いいえ)
エ 急変時等の緊急時に小児がん患者が入院できる体制を確保している。	A はい (はい/いいえ)
② 化学療法の提供体制	
化学療法のレジメン（治療内容をいう。）を審査し、組織的に管理する委員会を設置している。なお、当該委員会は、必要に応じて、カンサーボードと連携協力すること。 化学療法のレジメンを審査し、組織的に管理する委員会の組織・体制について別紙6に記載すること。	A はい (はい/いいえ)
管理上、当院で実施しているレジメンをホームページで公開している。	- いいえ (はい/いいえ)
レジメンを公開している場合、該当するページのアドレスを記載すること。	- http://
③ 緩和ケアの提供体制	
ア 小児がん拠点病院の指定要件で規定する小児の緩和ケアチーム（以下「緩和ケアチーム」という）を整備し、当該緩和ケアチームを組織上明確に位置付けるとともに、小児がん患者に対し適切な緩和ケアを提供している。 緩和ケアチームの組織・体制について別紙7に記載すること。 緩和ケアチームへの患者紹介の手順について別紙8に記載すること。	A はい (はい/いいえ)
イ 外来において専門的な小児の緩和ケアを提供できる体制を整備している。 緩和ケア外来について別紙9に記載すること。	B はい (はい/いいえ)
ウ 緩和ケアチーム並びに必要に応じて主治医および看護師等が参加する症状緩和に関するカンファレンスを定期的開催している。	A はい (はい/いいえ)

A : 必須
B : 望ましい
- : 参考
はい: 記載内容を満たしている
いいえ: 記載内容を満たしていない

A はい (はい/いいえ)

A はい (はい/いいえ)

A はい (はい/いいえ)
- はい (はい/いいえ)

A はい (はい/いいえ)

A はい (はい/いいえ)

- いいえ (はい/いいえ)

- http://

A はい (はい/いいえ)

B はい (はい/いいえ)

A はい (はい/いいえ)

<p>緩和ケアチームによるカンファレンスを開催した回数(平成28年4月1日～7月31日)</p>	<p>- 16 回</p>
<p>エ 院内の見やすい場所に緩和ケアチームによる診察が受けられる旨の掲示をするなど、小児がん患者およびその家族等に対し必要な情報提供を行っている。</p> <p>院内の見やすい場所に掲示している。 院内誌、チラシ等で広報している。 ホームページに掲載している。</p> <p>掲載している場合、該当するページのアドレスを記載すること。</p> <p>地域の広報誌等で広報している。 その他の方法で掲載している。</p> <p>その他の方法がある場合、内容を記載すること。</p>	<p>A はい (はい/いいえ)</p> <p>- はい (はい/いいえ)</p> <p>- はい (はい/いいえ)</p> <p>- はい (はい/いいえ)</p> <p>- http://www.osakacity-hp.or.jp/ocgh/department/kanwakea/kanwaichiran.html</p> <p>- いいえ (はい/いいえ)</p> <p>- いいえ (はい/いいえ)</p> <p>- </p>
<p>オ かかりつけ医の協力・連携を得て、主治医および看護師が緩和ケアチームと共に、退院後の居宅における緩和ケアに関する療養上必要な説明および指導を行っている。</p>	<p>A はい (はい/いいえ)</p>
<p>カ 小児の緩和ケアに関する要請および相談に関する受付窓口を設けるなど、地域の医療機関および在宅療養支援診療所等との連携協力体制を整備している。</p>	<p>B はい (はい/いいえ)</p>
<p>緩和ケア病棟について別紙10に記載すること。</p>	
<p>④ 病病連携・病診連携の協力体制</p>	
<p>ア 地域の医療機関から紹介された小児がん患者の受入れを行うこと。また、小児がん患者の状態に応じ、地域の医療機関へ小児がん患者の紹介を行っている。</p> <p>地域の医療機関との連携協力体制について別紙11に記載すること。</p>	<p>A はい (はい/いいえ)</p>
<p>イ 小児がんの病理診断または画像診断に関する依頼、手術療法、放射線療法または化学療法に関する相談など、地域の医療機関の医師と相互に診断および治療に関する連携協力体制を整備している。</p>	<p>A はい (はい/いいえ)</p>
<p>ウ 患者の状況に応じて、地域連携クリティカルパス(拠点病院と地域の医療機関等が作成する診療役割分担表、共同診療計画表および患者用診療計画表から構成される小児がん患者に対する診療の全体像を体系化した表をいう。以下同じ。)を整備している。</p>	<p>B いいえ (はい/いいえ)</p>
<p>エ ウに規定する地域連携クリティカルパスを活用するなど、地域の医療機関等と協力し、必要に応じて、退院時に当該小児がん患者に関する共同の診療計画の作成等を行っている。</p>	<p>B はい (はい/いいえ)</p>
<p>⑤ セカンドオピニオンの提示体制</p>	
<p>小児がんについて、手術療法、放射線療法または化学療法に携わる専門的な知識および技能を有する医師によるセカンドオピニオン(診断および治療法について、主治医以外の第三者の医師が提示する医療上の意見をいう。以下同じ。)を提示する体制を有している。</p> <p>セカンドオピニオンの提示体制について別紙12に記載すること。問い合わせ窓口について別紙13に記載すること。</p>	<p>A はい (はい/いいえ)</p>
<p>⑥ その他</p>	
<p>小児がん患者の親へのケアを実施している。</p>	<p>- はい (はい/いいえ)</p>

(2) 診療従事者

用語の定義:

専任: 当該診療の実施担当者で、その他の診療を兼任していても差し支えないが、就業時間の少なくとも5割以上、当該診療に従事しているもの。

専従: 就業時間の少なくとも8割以上、当該診療に専ら従事しているもの。

※専任の人数には、専従も含めて記載すること。

① 専門的な知識および技能を有する医師の配置

ア 放射線診断に携わる専門的な知識および技能を有する医師の人数。

放射線診断に携わる医師のうち常勤の人数

A	6	人
-	6	人

イ 化学療法に携わる専門的な知識および技能を有する医師の人数。

化学療法に携わる医師のうち専任の人数

A	6	人
---	---	---

化学療法に携わる医師のうち専任かつ常勤の人数

A	6	人
---	---	---

化学療法に携わる医師のうち専従の人数

B	3	人
---	---	---

化学療法に携わる医師のうち専従かつ常勤の人数

-	3	人
---	---	---

ウ 緩和ケアチームの、身体症状の緩和に携わる専門的な知識および技能を有する医師の人数。

緩和ケアチームの、身体症状の緩和に携わる専門的な知識および技能を有する医師の人数のうち常勤の人数

A	5	人
---	---	---

緩和ケアチームの、精神症状の緩和に携わる専門的な知識および技能を有する医師の人数。

緩和ケアチームの、精神症状の緩和に携わる専門的な知識および技能を有する医師の人数のうち常勤の人数

B	2	人
---	---	---

緩和ケアチームの身体症状担当医および精神症状担当医の人数。

うちPEACE(成人の緩和ケア研修会)修了者数

-	14	人
---	----	---

受講率

-	87.5	%
---	------	---

うちCLIC(小児の緩和ケア研修会)修了者数

-	2	人
---	---	---

受講率

-	12.5	%
---	------	---

小児がん診療において、小児がん患者の主治医や担当医となる者の人数。

うちPEACE(成人の緩和ケア研修会)修了者数

-	21	人
---	----	---

受講率

-	15	人
---	----	---

うちCLIC(小児の緩和ケア研修会)修了者数

-	9	人
---	---	---

受講率

-	42.9	%
---	------	---

施設に所属する医師(非常勤務医師も1人としてカウント)のうち、小児がん患者の主治医や担当医となることは想定されないが、主治医等から診察依頼を受けた場合や当直業務などで小児がん患者に対する診療を行うことがある者の人数。

うちPEACE(成人の緩和ケア研修会)修了者数

-	58	人
---	----	---

受講率

-	10	人
---	----	---

うちCLIC(小児の緩和ケア研修会)修了者数

-	4	人
---	---	---

受講率

-	6.9	%
---	-----	---

施設に所属する医師(非常勤務医師も1人としてカウント)のうち、病理診断医や放射線診断医など、小児がん患者との日常的な対面は想定されない者の人数。

うちPEACE(成人の緩和ケア研修会)修了者数

-	13	人
---	----	---

受講率

-	2	人
---	---	---

-	15.4	%
---	------	---

	うちCLIC(小児の緩和ケア研修会)修了者数	-	0	人
	受講率	-	0.0	%
施設に所属する初期臨床研修2年目から初期臨床研修修了後3年目までのすべての医師の人数。		-	87	人
	うちPEACE(成人の緩和ケア研修会)修了者数	-	23	人
	受講率	-	26.4	%
	うちCLIC(小児の緩和ケア研修会)修了者数	-	0	人
	受講率	-	0.0	%
病院長はPEACE(成人の緩和ケア研修会)を修了している。		-	はい	(はい/いいえ)
病院長はCLIC(小児の緩和ケア研修会)を修了している。		-	いいえ	(はい/いいえ)
エ 病理診断に携わる医師の人数。		-	3	人
	病理診断に携わる医師のうち専従の人数	A	3	人
	病理診断に携わる医師のうち専従かつ常勤の人数	A	3	人
② 専門的な知識および技能を有するコメディカルスタッフの配置				
ア 放射線療法に携わる診療放射線技師の人数。		A	8	人
	放射線療法に携わる診療放射線技師のうち常勤の人数	-	8	人
放射線療法における機器の精度管理、照射計画の検証、照射計画補助作業等に携わる技術者等の人数。		A	1	人
	放射線療法における機器の精度管理、照射計画の検証、照射計画補助作業等に携わる技術者等のうち常勤の人数	-	1	人
イ 化学療法に携わる専門的な知識および技能を有する薬剤師の人数。		-	10	人
	化学療法に携わる専門的な知識および技能を有する薬剤師のうち常勤の人数	A	10	人
ウ 緩和ケアチームの、緩和ケアに携わる専門的な知識および技能を有する看護師の人数。		-	8	人
	緩和ケアチームの、緩和ケアに携わる専門的な知識および技能を有する看護師の常勤の人数	A	8	
	緩和ケアチームに協力する薬剤師の人数	B	3	人
	緩和ケアチームに協力する医療心理に携わる者の人数	B	3	人
エ 細胞診断に関する業務に携わる者の人数。		B	2	人
オ 小児看護やがん看護に関する専門的な知識および技能を有する専門看護師または認定看護師の人数。		B	14	人
カ チャイルドライフスペシャリスト、小児科領域に関する専門的知識を有する臨床心理士または社会福祉士のような療養を支援する担当者の人数。		B	8	人
	チャイルドライフスペシャリストの人数	-	1	人
	小児科領域に関する専門的知識を有する臨床心理士の人数	-	5	人
	小児科領域に関する専門的知識を有する社会福祉士の人数	-	2	人
③ その他				
ア 小児がん患者の状態に応じたより適切ながん医療を提供できるよう、各診療科の医師における情報交換・連携を恒常的に推進する観点から、各診療科を包含する居室等を設置している。		B	はい	(はい/いいえ)
イ 拠点病院の長は、当該拠点病院において小児がん診療に携わる専門的な知識および技能を有する医師の専門性および活動実績等を定期的に評価し、当該医師がその専門性を十分に発揮できる体制を整備している。なお、当該評価に当たっては、手術療法・放射線療法・化学療法の治療件数(放射線療法・化学療法については、入院・外来ごとに評価することが望ましい。)、紹介されたがん患者数その他診療連携の実績、論文の発表実績、研修会・日常診療等を通じた指導実績、研修会・学会等への参加実績等を参考とすること。		A	はい	(はい/いいえ)

学会・教育・研修活動のための予算が計上されている。
論文発表、学会発表等を病院業績集等で報告している。

- はい (はい/いいえ)
- はい (はい/いいえ)

(3) 医療施設

① 専門的ながん医療を提供するための治療機器及び治療室等の設置

ア 放射線療法に関する機器を設置している。ただし、当該機器は、リニアックなど、体外照射を行うための機器であること。

A はい (はい/いいえ)

イ 集中治療室を設置している。

集中治療室を設置している場合、一般向けの特定集中治療室(ICU)の数
集中治療室を設置している場合、小児専門の特定集中治療室(PICU)の数

B はい (はい/いいえ)
- 10 床
- 0 床

ウ 小児がん患者およびその家族が心の悩みや体験等を語り合うための場所およびその機会を設けている。
小児がん患者およびその家族が語り合うための場の設定状況について別紙14に記載すること。語り合うための場の一覧を別紙15に記載すること。
小児がん患者およびその家族を対象とした小児がんに関する勉強会等を開催した回数(平成27年1月1日～12月31日)

B はい (はい/いいえ)

- 1 回

② 敷地内禁煙等

敷地内禁煙の実施等のたばこ対策に積極的に取り組んでいる。
敷地内は全面禁煙である。

A はい (はい/いいえ)
- はい (はい/いいえ)

③ その他

ア がんの治療に際する妊孕性温存目的で精子保存を行った患者の数(平成27年1月1日～12月31日)
イ がんの治療に際する妊孕性温存目的で未受精卵子、受精卵(胚)、あるいは、卵巣組織の凍結保存を行った患者の数(平成27年1月1日～12月31日)
ウ がんの治療に際する妊孕性温存目的で薬物を用いて卵巣を休眠させる事で化学療法から卵巣を保護する治療を行った患者の数(平成27年1月1日～12月31日)
エ がんの治療に際する妊孕性温存のための処置が必要な患者のために 妊孕性温存治療ができる他の施設へ紹介した患者の数(平成27年1月1日～12月31日)
オ 院内学級を開催している(院内学級とは、ここでは院内に設置された小・中学特別支援学級、特別支援学校を指す)。

- 0 人
- 0 人
- 0 人
- 5 人
- はい (はい/いいえ)

(4) 診療実績

① 領域別の小児がん診療機能、診療実績および医療従事者の専門とする分野・経歴などを、わかりやすく情報提供している。
院内の見やすい場所に掲示している。
院内誌、チラシ等で広報している。
ホームページに掲載している。

掲載している場合、該当するページのアドレスを記載すること。

地域の広報誌等で広報している。
その他の方法で掲載している。

A はい (はい/いいえ)
- いいえ (はい/いいえ)
- いいえ (はい/いいえ)
- はい (はい/いいえ)
- <http://www.osakacity-hp.or.jp/ocgh/gaiyou/iryuu/syounikyoten.html>
- いいえ (はい/いいえ)
- いいえ (はい/いいえ)

その他の方法がある場合、内容を記載すること。	
② 固形腫瘍について年間(平成27年1月1日～12月31日)新規症例数が10例程度以上(うち脳・脊髄腫瘍が2例程度以上)である(18歳以下の初発診断例を対象とする)。	A
③ 造血管腫瘍について、年間(平成27年1月1日～12月31日)新規症例数が10例程度以上である(18歳以下の初発診断例を対象とする)。	A
診療実績等について別紙2および別紙16に記載すること。	
(5)その他	
① 特定非営利活動法人日本小児血液・がん学会が認定する「日本小児血液・がん専門医研修施設」および特定非営利活動法人日本小児外科学会が認定する「認定施設」である。	A
② 公益財団法人骨髄移植推進財団が認定する移植認定病院または日本さい帯血バンクネットワークに登録している移植医療機関である。	A
公益財団法人骨髄移植推進財団の移植認定病院である。	-
日本さい帯血バンクネットワークの移植医療機関の登録施設である。	-
2 研修の実施体制	
地域の医療機関等の医療従事者も参加する小児がんの診療、相談支援、がん登録および臨床試験等に関するカンファレンスや勉強会等を毎年定期的に開催している。	A
小児がんに関するカンファレンスや勉強会等の開催状況について別紙17に記載すること。	
小児がんに関する研修プログラムの状況について別紙18に記載すること。	
3 情報の収集提供体制	
(1)相談支援センター	
小児がん拠点病院の指定要件で規定する相談支援を行う機能を有する部門(以下「相談支援センター」という。)を設置し、院内の見やすい場所に相談支援センターによる相談支援を受けられる旨の掲示をするなど、相談支援センターについて積極的に広報している。	A
院内の見やすい場所に掲示している。	-
院内誌、チラシ等で広報している。	-
ホームページに掲載している。	-
掲載している場合、該当するページのアドレスを記載すること。	-
掲載している場合、該当するページのアドレスを記載すること。	-
地域の広報誌等で広報している。	-
その他の方法で掲載している。	-
その他の方法がある場合、内容を記載すること。	-
相談支援センターの体制について別紙19に記載すること。	
相談支援センターの状況について別紙20に記載すること。	
相談支援センターの問い合わせ窓口について別紙21に記載すること。	

-		
A	はい	(はい/いいえ)
A	はい	(はい/いいえ)
A	はい	(はい/いいえ)
A	はい	(はい/いいえ)
-	はい	(はい/いいえ)
-	はい	(はい/いいえ)
A	はい	(はい/いいえ)
A	はい	(はい/いいえ)
-	はい	(はい/いいえ)
-	はい	(はい/いいえ)
-	はい	(はい/いいえ)
-	はい	(はい/いいえ)
-	いいえ	(はい/いいえ)
-	いいえ	(はい/いいえ)
-		

<http://www.osakacity-hp.or.jp/ocgh/gaiyou/iryou/kyoten/madoguchi.html>

① 小児がん中央機関による研修を修了した小児がん患者およびその家族等の抱える問題に対応できる専任の相談支援に携わる者を1人以上配置している。
② 院内および地域の医療従事者の協力を得て、院内外の小児がん患者およびその家族並びに地域の住民および医療機関等からの相談等に対応する体制を整備している。 相談支援に関し十分な経験を有する小児がん患者団体との連携協力体制の構築に積極的に取り組んでいる。 小児がん患者団体との連携について別紙22に記載すること。
相談支援センターにおいて、以下の業務を行っている。
ア 小児がんの病態、標準的治療法等小児がん診療等に関する一般的な情報の提供をしている。
イ 領域別の小児がん診療機能、診療実績および医療従事者の専門とする分野・経歴など、地域の医療機関および医療従事者に関する情報の収集、提供をしている。
ウ セカンドオピニオンの提示が可能な医師の紹介をしている。
エ 小児がん患者の発育、教育および療養上の相談に対応している。
オ 地域の医療機関および医療従事者等における小児がん診療の連携協力体制の事例に関する情報の収集、提供をしている。
カ 必要に応じて、地域の医療機関に対して相談支援に関する支援を行っている。
キ その他相談支援に関することを行っている。
(2)院内がん登録
① 別途定める「小児がん標準登録様式」に基づく院内がん登録を実施している。 毎年、院内がん登録の集計結果等を小児がん中央機関に情報提供している。
② 小児がん中央機関による研修を受講したがん登録の実務を担う者を1人以上配置している。
③ 拠点病院の所在する都道府県が行う地域がん登録事業に積極的に協力している。
(3)その他
地域住民に対する病院、相談支援センター、緩和ケアチーム、緩和ケア病棟(設置されているのみ)に関するアピールを別紙23に記載すること。
4 臨床研究に関すること
(1)進行中の臨床試験(治験を除く。以下同じ。)の概要および過去の臨床試験の成果を広報している。 院内の見やすい場所に掲示している。 院内誌、チラシ等で広報している。 ホームページに掲載している。 掲載している場合、該当するページのアドレスを記載すること。 地域の広報誌等で広報している。 その他の方法で掲載している。 その他の方法がある場合、内容を記載すること。

A	はい	(はい/いいえ)
A	はい	(はい/いいえ)
B	はい	(はい/いいえ)
A	はい	(はい/いいえ)
A	はい	(はい/いいえ)
A	はい	(はい/いいえ)
A	はい	(はい/いいえ)
A	はい	(はい/いいえ)
A	はい	(はい/いいえ)
-	はい	(はい/いいえ)
-	はい	(はい/いいえ)
A	はい	(はい/いいえ)
A	はい	(はい/いいえ)
A	はい	(はい/いいえ)
A	はい	(はい/いいえ)
A	はい	(はい/いいえ)
-	はい	(はい/いいえ)
-	はい	(はい/いいえ)
-	いいえ	(はい/いいえ)
-	はい	(はい/いいえ)
-	いいえ	(はい/いいえ)
-	いいえ	(はい/いいえ)
-		

<http://www.osakacity-hp.or.jp/ocgh/department/bumon/chiken.html>

<p>(1)ー2 進行中の臨床試験以外の小児がんに関連する臨床研究(特にトランスレーショナルリサーチ)の概要および過去の臨床研究の成果を広報している。</p> <p>院内の見やすい場所に掲示している。 院内誌、チラシ等で広報している。 ホームページに掲載している。</p> <p>掲載している場合、該当するページのアドレスを記載すること。</p> <p>地域の広報誌等で広報している。 その他の方法で掲載している。</p> <p>その他の方法がある場合、内容を記載すること。</p>	<p>A</p> <table border="1"> <tr><td>はい</td><td>(はい/いいえ)</td></tr> <tr><td>-</td><td>はい</td><td>(はい/いいえ)</td></tr> <tr><td>-</td><td>いいえ</td><td>(はい/いいえ)</td></tr> <tr><td>-</td><td>はい</td><td>(はい/いいえ)</td></tr> <tr><td>-</td><td colspan="2">http://www.osakacity-hp.or.jp/ocgh/department/bumon/chik/en.html</td></tr> <tr><td>-</td><td>いいえ</td><td>(はい/いいえ)</td></tr> <tr><td>-</td><td>いいえ</td><td>(はい/いいえ)</td></tr> <tr><td>-</td><td colspan="2"></td></tr> </table>	はい	(はい/いいえ)	-	はい	(はい/いいえ)	-	いいえ	(はい/いいえ)	-	はい	(はい/いいえ)	-	http://www.osakacity-hp.or.jp/ocgh/department/bumon/chik/en.html		-	いいえ	(はい/いいえ)	-	いいえ	(はい/いいえ)	-		
はい	(はい/いいえ)																							
-	はい	(はい/いいえ)																						
-	いいえ	(はい/いいえ)																						
-	はい	(はい/いいえ)																						
-	http://www.osakacity-hp.or.jp/ocgh/department/bumon/chik/en.html																							
-	いいえ	(はい/いいえ)																						
-	いいえ	(はい/いいえ)																						
-																								
<p>(2)参加中の治験について、その対象であるがんの種類および薬剤名等を広報している。</p> <p>院内の見やすい場所に掲示している。 院内誌、チラシ等で広報している。 ホームページに掲載している。</p> <p>掲載している場合、該当するページのアドレスを記載すること。</p> <p>地域の広報誌等で広報している。 その他の方法で掲載している。</p> <p>その他の方法がある場合、内容を記載すること。</p>	<p>B</p> <table border="1"> <tr><td>はい</td><td>(はい/いいえ)</td></tr> <tr><td>-</td><td>はい</td><td>(はい/いいえ)</td></tr> <tr><td>-</td><td>いいえ</td><td>(はい/いいえ)</td></tr> <tr><td>-</td><td>はい</td><td>(はい/いいえ)</td></tr> <tr><td>-</td><td colspan="2">http://www.osakacity-hp.or.jp/ocgh/department/bumon/chik/en.html</td></tr> <tr><td>-</td><td>いいえ</td><td>(はい/いいえ)</td></tr> <tr><td>-</td><td>いいえ</td><td>(はい/いいえ)</td></tr> <tr><td>-</td><td colspan="2"></td></tr> </table>	はい	(はい/いいえ)	-	はい	(はい/いいえ)	-	いいえ	(はい/いいえ)	-	はい	(はい/いいえ)	-	http://www.osakacity-hp.or.jp/ocgh/department/bumon/chik/en.html		-	いいえ	(はい/いいえ)	-	いいえ	(はい/いいえ)	-		
はい	(はい/いいえ)																							
-	はい	(はい/いいえ)																						
-	いいえ	(はい/いいえ)																						
-	はい	(はい/いいえ)																						
-	http://www.osakacity-hp.or.jp/ocgh/department/bumon/chik/en.html																							
-	いいえ	(はい/いいえ)																						
-	いいえ	(はい/いいえ)																						
-																								
<p>(3)臨床研究を支援する専門の部署を設置している。</p> <p style="text-align: right;">設置していない場合は設置の予定時期</p> <p>臨床研究について、患者からのアクセスに考慮した情報提供している。 臨床研究について、ホームページで患者からのアクセスができるようわかりやすく掲載している。 臨床研究を支援する専門の各部門のメンバーについて 別紙24に記載すること。</p>	<p>B</p> <table border="1"> <tr><td>はい</td><td>(はい/いいえ)</td></tr> <tr><td>-</td><td>年月</td><td>(西暦XXXX年XX月)</td></tr> <tr><td>-</td><td>はい</td><td>(はい/いいえ)</td></tr> <tr><td>-</td><td>はい</td><td>(はい/いいえ)</td></tr> </table>	はい	(はい/いいえ)	-	年月	(西暦XXXX年XX月)	-	はい	(はい/いいえ)	-	はい	(はい/いいえ)												
はい	(はい/いいえ)																							
-	年月	(西暦XXXX年XX月)																						
-	はい	(はい/いいえ)																						
-	はい	(はい/いいえ)																						
<p>(4)臨床研究コーディネーターを配置している。</p> <p style="text-align: right;">臨床研究コーディネーターを配置している場合、その人数</p>	<p>B</p> <table border="1"> <tr><td>はい</td><td>(はい/いいえ)</td></tr> <tr><td>-</td><td>3</td><td>人</td></tr> </table>	はい	(はい/いいえ)	-	3	人																		
はい	(はい/いいえ)																							
-	3	人																						
<p>(5)地域の医療機関と連携し、地域の臨床研究を推進している。</p>	<p>A</p> <table border="1"> <tr><td>はい</td><td>(はい/いいえ)</td></tr> </table>	はい	(はい/いいえ)																					
はい	(はい/いいえ)																							
<p>臨床研究の問い合わせ窓口について 別紙25に記載すること。</p>																								
<p>臨床研究の実施状況について 別紙26に記載すること。</p>																								
<p>5 患者の発育および教育等に関して必要な環境整備</p>																								

<p>(1) 保育士を配置している。 保育士の人数。 保育士のうち常勤の人数</p>	<p>A <input type="text" value="はい"/> (はい/いいえ) - <input type="text" value="6"/> 人 - <input type="text" value="6"/> 人</p>
<p>(2) 病弱の特別支援学校または小中学校の病弱・身体虚弱の特別支援学級による教育支援(特別支援学校による訪問教育を含む。)が行われている。 特別支援学校(養護学校)の分校・分教室がある。 特別支援学校(養護学校)による訪問教育を行っている。 病院内に特別支援学級が設置されている。</p>	<p>A <input type="text" value="はい"/> (はい/いいえ) - <input type="text" value="はい"/> (はい/いいえ) - <input type="text" value="いいえ"/> (はい/いいえ) - <input type="text" value="いいえ"/> (はい/いいえ)</p>
<p>(3) 退院時の復園および復学支援が行われている。 教育支援、復園・復学支援の状況について別紙27に記載すること。</p>	<p>A <input type="text" value="はい"/> (はい/いいえ)</p>
<p>(4) 子どもの発達段階に応じた遊戯室等を設置している。 AYA世代(思春期および若年成人)のための場所を確保している。</p>	<p>A <input type="text" value="はい"/> (はい/いいえ) - <input type="text" value="はい"/> (はい/いいえ)</p>
<p>(5) 家族等が利用できる長期滞在施設またはこれに準じる施設が整備されている。 部屋数。 長期滞在施設が自施設内に設置されている。 長期滞在施設またはこれに準じる施設について別紙28記載すること。</p>	<p>A <input type="text" value="はい"/> (はい/いいえ) - <input type="text" value="8"/> 部屋 - <input type="text" value="はい"/> (はい/いいえ)</p>
<p>(6) 家族等の希望により、24時間面会または患者の付き添いができる体制を構築している。</p>	<p>A <input type="text" value="はい"/> (はい/いいえ)</p>
<p>(7) 患者のきょうだいに対する保育の体制整備を行っている。</p>	<p>B <input type="text" value="はい"/> (はい/いいえ)</p>

先進医療への対応状況(小児がんに関するもの)

記載の有無

なし

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名: 地方独立行政法人 大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター

先進医療窓口情報						
先進医療の実施		(実施しています／実施していません)				
第2項先進医療	問い合わせ窓口	(窓口があります／窓口がありません)				
	窓口名					
	技術名					
	電話番号	代表		内線		
		直通				
	対象となる病名・病状					
実施件数(平成28年4月1日～7月31日)			件			
第3項先進医療	問い合わせ窓口	(窓口があります／窓口がありません)				
	窓口名					
	技術名					
	電話番号	代表		内線		
		直通				
	対象となる病名・病状					
実施件数(平成28年4月1日～7月31日)			件			

各種小児がんの情報

記載の有無 **あり**

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

小児がんについての対応状況を記載してください。

※ 各医療機関において「専門とするがん」とは、集学的治療および緩和ケアを提供する体制が整備されているとともに、各学会の診療ガイドラインに準ずる標準的治療等のがん患者の状態に応じた適切な治療を提供する体制が整備されているがんのことをさします。

※ 診療を実施していないがんについて、表の記載は不要です。

※ 内視鏡下手術用ロボットを用いた手術に関しては、その他の治療法の欄に記載すること。

小児脳腫瘍

病院名： 地方独立行政法人 大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター

集学的治療の実施状況 **○** (○:専門とするがん/×:診療を実施していないがん)

期間： 平成28年9月1日現在(実績は平成27年1月1日～12月31日)

当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数				治療の実施状況 (○:実施可/×:実施不可) 昨年実績(あり/なし) ※平成27年1月1日～12月31日										各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ				
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	手術	化学療法	放射線療法			陽子線治療	その他の治療法があれば記載 ※下記のその他の治療法欄と合わせてください			※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	掲載されている内容						
					体外照射	定位放射線療法	IMRT		小線源治療	他の治療(1)	他の治療(2)		他の治療(3)		治療内容	治療実績	医師の専門分野		
											見出し		アドレス						
1	小児脳神経外科	3	3	状況	○	×	×	○	×	×	×	×	×	当センターでは、脳腫瘍のトータルケアが可能です。	小児脳神経外科	http://www.osakacity-hp.or.jp/ocgh/department/syouni/n_g.html	掲載あり	掲載あり	掲載あり
				実績	あり	なし	なし	あり	なし	なし	なし	なし	なし				なし	なし	なし
2	小児血液腫瘍科	4	4	状況	×	○	×	×	×	×	×	×	×	思春期～若年成人にも力を入れています。	小児血液腫瘍科	http://www.osakacity-hp.or.jp/ocgh/department/syouni/k_s.html	掲載あり	掲載あり	掲載あり
				実績	なし	あり	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし				なし	なし	
3	放射線腫瘍科	4	4	状況	×	×	○	○	○	×	×	×	×		放射線腫瘍科	http://www.osakacity-hp.or.jp/ocgh/department/rinsyou/s.html	掲載あり	掲載あり	掲載あり
				実績	あり	なし	あり	あり	あり	なし	なし	なし	なし				なし		
4				状況												http://			
				実績															
5				状況												http://			
				実績															
その他の治療法 ※上記の実施状況・実績欄と合わせて記載してください				治療名				治療内容											
他の治療(1)																			
他の治療(2)																			
他の治療(3)																			
治療実績のある疾患名 ※平成27年1月1日～12月31日				神経膠腫、頭蓋咽頭腫、髄芽腫、胚細胞腫、上衣腫、非定形形腫様ラブドイド腫瘍、下垂体腺腫、原始神経外胚葉腫瘍															

小児の眼・眼窩腫瘍

集学的治療の実施状況 ○ (○:専門とするがん/×:診療を実施していないがん)

当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数				治療の実施状況 (○:実施可/×:実施不可) 昨年の実績(あり/なし) ※平成27年1月1日～12月31日											各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ				
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	手術	冷凍凝固術	光凝固術	化学療法	眼動注	放射線療法			陽子線治療	その他の治療法があれば記載 ※下記のその他の治療法欄と合わせてください				見出し	アドレス	掲載されている内容		
								体外照射	IMRT	小線源治療		他の治療(1)	他の治療(2)	他の治療(3)					治療内容	治療実績
1 小児眼科	3	3	状況	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	小児眼科	http://www.osakacity-hp.or.jp/ocgh/department/syouni/ganka.html	掲載あり	掲載あり	掲載あり
			実績	あり	あり	あり	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし					
2 小児血液腫瘍科	4	4	状況	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	小児血液腫瘍科	http://www.osakacity-hp.or.jp/ocgh/department/syouni/ks.html	掲載あり	掲載あり	掲載あり
			実績	なし	なし	なし	あり	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし					
3 放射線腫瘍科	4	4	状況	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	放射線腫瘍科	http://www.osakacity-hp.or.jp/ocgh/department/rinsyou/s.html	掲載あり	掲載あり	掲載あり
			実績	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし					
4			状況														http://			
			実績																	
5			状況														http://			
			実績																	

その他の治療法 ※上記の実施状況・実績欄と合わせて記載してください	治療名	治療内容
他の治療(1)		
他の治療(2)		
他の治療(3)		
治療実績のある疾患名 ※平成27年1月1日～12月31日	網膜芽細胞腫	

小児悪性骨軟部腫瘍

集学的治療の実施状況 ○ (○:専門とするがん/×:診療を実施していないがん)

当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況 (○:実施可/×:実施不可) 昨年の実績(あり/なし) ※平成27年1月1日～12月31日													各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ		
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	手術				化学療法	放射線療法		陽子線治療	重粒子線治療	その他の治療法があれば記載 ※下記のその他の治療法欄と合わせてください			見出し		アドレス	掲載されている内容	
			切・離断術	患肢温存術	再建術	骨移植術		体外照射	小線源治療			他の治療(1)	他の治療(2)	他の治療(3)					治療内容
1 整形外科	14	1	状況	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	整形外科	http://www.osakacity-hp.or.jp/ocgh/department/seikei/seikei.html	掲載あり	掲載あり	掲載あり
			実績	あり	あり	あり	あり	あり	なし	なし	なし	なし	なし	なし					
2 小児血液腫瘍科	4	4	状況	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	小児血液腫瘍科	http://www.osakacity-hp.or.jp/ocgh/department/syouni/k.s.html	掲載あり	掲載あり	掲載あり
			実績	なし	なし	なし	なし	あり	なし	なし	なし	なし	なし	なし					
3 放射線腫瘍科	4	4	状況	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	放射線腫瘍科	http://www.osakacity-hp.or.jp/ocgh/department/rinsyou/s.html	掲載あり	掲載あり	掲載あり
			実績	なし	なし	なし	なし	なし	あり	なし	なし	なし	なし	なし					
4			状況													http://			
			実績																
5			状況													http://			
			実績																
その他の治療法 ※上記の実施状況・実績欄と合わせて記載してください			治療名													治療内容			
他の治療(1)																			
他の治療(2)																			
他の治療(3)																			
治療実績のある疾患名 ※平成27年1月1日～12月31日			横紋筋肉腫、骨肉腫、ユーイング肉腫、滑膜肉腫、ランゲルハンス組織球症																

その他の小児固形腫瘍

集学的治療の実施状況 ○ (○:専門とするがん/×:診療を実施していないがん)

当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況 (○:実施可/×:実施不可) 昨年実績(あり/なし) ※平成27年1月1日～12月31日									各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ					
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	手術	化学療法	放射線療法		陽子線治療	その他の治療法があれば記載 ※下記のその他の治療法欄と合わせてください			見出し		アドレス	掲載内容	治療実績	医師の専門分野		
					体外照射	小線源治療		他の治療(1)	他の治療(2)	他の治療(3)								
			状況															
			実績															
1	小児外科	6	6	○	×	×	×	×	×	×	×	小児血液・がん学会認定の小児がん認定外科医が3名在籍しています。 治験や先進医療も行っています。	小児外科	http://www.osakacity-hp.or.jp/ocgh/department/syouni/geka.html	掲載あり	掲載あり	掲載あり	
				あり	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし			http://				
2	小児血液腫瘍科	4	4	×	○	×	×	×	×	×	×			小児血液腫瘍科	http://www.osakacity-hp.or.jp/ocgh/department/syouni/ks.html	掲載あり	掲載あり	掲載あり
				なし	あり	なし	なし	なし	なし	なし	なし				http://			
3	放射線腫瘍科	4	4	×	×	○	○	×	×	×	×			放射線腫瘍科	http://www.osakacity-hp.or.jp/ocgh/department/rinsyou/s.html	掲載あり	掲載あり	掲載あり
				なし	なし	あり	なし	なし	なし	なし	なし			http://				
4	小児耳鼻咽喉科	8	4	○	×	×	×	×	×	×	×		小児耳鼻咽喉科	http://www.osakacity-hp.or.jp/ocgh/department/syouni/ji.html	掲載あり	掲載あり	掲載あり	
				なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし			http://				
5														http://				
														http://				
その他の治療法 ※上記の実施状況・実績欄と合わせて記載してください				治療名							治療内容							
他の治療(1)																		
他の治療(2)																		
他の治療(3)																		
治療実績のある疾患名 ※平成27年1月1日～12月31日				神経芽腫、Wilms腫瘍、肝芽腫、卵巣腫瘍、奇形腫、横紋筋肉腫、ユーイング肉腫、網膜芽細胞腫														

小児血液腫瘍

集学的治療の実施状況 ○ (○:専門とするがん/×:診療を実施していないがん)

当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況 (○:実施可/×:実施不可) 昨年の実績(あり/なし) ※平成27年1月1日～12月31日										各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ						
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	化学療法	移植			放射線療法		その他の治療法があれば記載 ※下記のその他の治療法欄と合わせてください			※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください		掲載されている内容						
				自家末梢血幹細胞移植	血縁者間同種造血幹細胞移植	非血縁者間同種骨髄移植または臍帯血移植	体外照射	全身照射	他の治療(1)	他の治療(2)	他の治療(3)			治療内容	治療実績	医師の専門分野				
											見出し	アドレス								
1	小児血液腫瘍科	4	4	状況	○	○	○	○	×	×	×	×	×	HALが合わない移植やミニ移植に積極的に取り組んでいます。	小児血液腫瘍科	http://www.osakacity-hp.or.jp/ocgh/department/syouni/k.s.html	掲載あり	掲載あり	掲載あり	
				実績	あり	あり	あり	あり	なし	なし	なし	なし	なし			http://				
2	放射線腫瘍科	4	4	状況	×	×	×	×	○	○	×	×	×		放射線腫瘍科	http://www.osakacity-hp.or.jp/ocgh/department/rinsyou/h.s.html	掲載あり	掲載あり	掲載あり	
				実績	なし	なし	なし	なし	あり	あり	なし	なし	なし				http://			
3				状況													http://			
				実績												http://				
4				状況												http://				
				実績											http://					
5				状況											http://					
				実績											http://					
その他の治療法 ※上記の実績欄と合わせて記載してください				治療名					治療内容											
他の治療(1)																				
他の治療(2)																				
他の治療(3)																				
治療実績のある疾患名 ※平成27年1月1日～12月31日				急性リンパ性白血病、急性骨髄性白血病、骨髄異形成症候群、非ホジキンリンパ腫																

がんボードの体制および開催実績

記載の有無 あり

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名: 地方独立行政法人 大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター

開催されたがんボードの総件数: 56

期間: 平成28年4月1日～7月31日

開催されたがんボードについて記載すること。個人情報を記載しないよう注意すること。

がんボード名		メンバーの専門性・職種	開催日または開催頻度	内容
例	小児外科カンファレンス	小児科部長、小児科医、放射線治療医、小児看護専門看護師、薬剤師		新規治療開始患者の治療方針の決定や経過報告
1	小児・青年期がんがんボード	小児血液腫瘍科医、小児外科医、小児脳神経外科医、整形外科医、病理医、放射線治療医、臨床腫瘍科医(成人がん担当)	月1回	入院・外来患者の診断及び集学的治療の方針について検討
2	小児血液腫瘍科多職種カンファレンス	小児血液腫瘍科医、小児緩和ケア医、小児科看護師、がん専門薬剤師、ホスピタル・プレイ・スペシャリスト、小児がん専従社会福祉士	週1回(月曜日)	入院患者の治療・ケアの方針について多角的な面から検討
3	小児血液腫瘍科多職種カンファレンス	小児血液腫瘍科医、小児緩和ケア医、がん専門薬剤師、小児がん専従臨床心理士	週1回(木曜日)	入院患者の治療・ケアの方針について多角的な面から検討
4	こどもサポートチームカンファレンス	小児緩和ケア医、小児精神科医、小児がん専従臨床心理士、看護師、緩和ケア認定看護師、小児がん専従社会福祉士、ホスピタル・プレイ・スペシャリスト	週1回(水曜日)	入院患者の治療・ケアについて、緩和ケアの分野で多角的な面から検討
5	長期フォローアップカンファレンス	小児血液腫瘍科医、小児内分泌科医、小児脳神経外科医、小児言語外来担当医、がん化学療法認定看護師、小児がん専従社会福祉士	月1回	長期フォローアップ外来患者の診療・ケア・サポート方針について検討
6				
7				
8				
9				
10				

長期にわたり診療するための具体的な診療体制

記載の有無 **あり**

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名: 地方独立行政法人 大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター

自施設内における長期フォローアップの体制、他施設との連携による長期フォローアップの体制等について具体的に記載すること。必要に応じて図を用いても構いません。1枚におさめること。

このシートに貼付することが難しい場合、**ファイル名の頭に別紙4を付けた**電子ファイル、別添資料を提出すること。

別添資料の提出有無

なし (あり/なし)

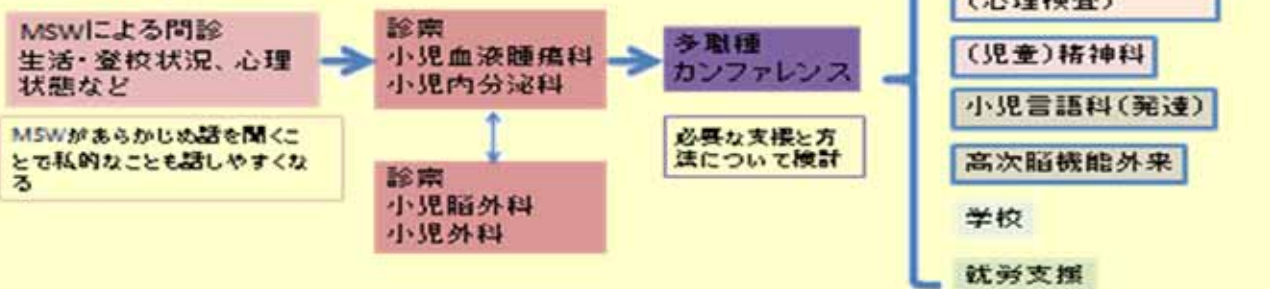
ファイル形式

(ワード/—太郎/リッチテキスト/エクセル/パワーポイント/PDF/その他)

その他の場合ファイル形式を記載してください。

長期フォローアップ

定期健診外来: 毎週水曜日午前 コーディネーター・看護師が診療に同席。終了後、診療・検査結果および今後の対応を多職種カンファレンスでの検討を経て、看護師が後日家族に連絡。現在約200名をフォロー中。



具体的な就労支援: 障害者手帳の取得支援、ハローワーク・職業訓練施設へのつなぎ

その他の支援: てらこや(毎週金曜日午後以外来で教育大学生と当院療育支援室で学習支援)
 外来交流会 (HPSが中心となって月1回金曜日午後開催)
 AYA世代患者会 (外来師長、HPSが中心となって開催。不定期)

AYA世代への診療提供体制

記載の有無 **あり**

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名: 地方独立行政法人 大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター

AYA世代への診療提供体制(自施設・多施設の成人診療科との連携状況等)について記載すること。

このシートに貼付することが難しい場合、**ファイル名の頭に別紙5を付けた**電子ファイル、別添資料を提出すること。

別添資料の提出有無 **なし** (あり/なし)

ファイル形式 **Word/Excel/PowerPoint/PDF/その他** (ワード/一太郎/リッチテキスト/エクセル/パワーポイント/PDF/その他)

その他の場合ファイル形式を記載してください。

【受け入れ疾患】

特に規定していないが、小児血液腫瘍科での受け入れは若年成人では小児領域に多い疾患で小児系診療科が診療した方がよいと考えられる疾患が対象。具体的には化学療法を必要とする脳腫瘍、骨軟部肉腫、急性リンパ性白血病や再発例が中心。思春期は実際にはこれらの疾患に限定されない。

【診療体制と実績】

化学療法: 小児血液腫瘍科

外科: 小児外科、整形外科、成人の脳神経外科、必要に応じて成人外科

15歳以上は21例と前年の15名より増加した。疾患は造血器腫瘍8例、脳腫瘍9例、その他4名であった。

【療養環境】

造血器腫瘍は血液内科病棟、固形がんは臨床腫瘍科病棟をおもに使用。患者の要望により、小児病棟に收容することもある(女性に多い)。

高校の授業は、小児病棟内にある自習室を使用。

症例により、小児と成人の緩和ケアチームを使い分けている。

【カンファレンス】

成人脳外科、整形外科、腫瘍内科と合同カンファレンスを実施

【紹介元】

当院および他院の血液内科、がんセンターや大学の整形外科、脳外科

化学療法のレジメンを審査し、組織的に管理する委員会の組織・体制

記載の有無

あり

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名： 地方独立行政法人 大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター

開催された委員会の総件数： 1

期間：平成28年4月1日～7月31日

化学療法のレジメンを審査し、組織的に管理する委員会の名称、開催頻度、委員会のメンバーを記載すること。個人情報に記載しないよう注意すること。

委員会の名称	医療の質向上委員会、化学療法レジメン委員会(新規レジメン)	
委員会の開催頻度	年4回	
委員会のメンバー	職種	役職
例	医師、看護師、薬剤師	腫瘍内科センター長、薬剤部長、副看護部長
1	医師	臨床腫瘍センター長兼腫瘍内科部長(がん薬物専門医)
2	医師	血液内科副部長
3	医師	小児血液腫瘍科副部長
4	医師	消化器内科医長
5	医師	消化器外科副部長
6	医師	婦人科医
7	医師	泌尿器科副部長
8	医師	整形外科副部長
9	医師	乳腺外科部長
10	医師	耳鼻咽喉科部長

緩和ケアチームの組織・体制

記載の有無

あり

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名： 地方独立行政法人 大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター

緩和ケアチームの総人数： 11

緩和ケアチームの名称、メンバー等を記載すること。個人情報に記載しないよう注意すること。なお、身体症状の緩和に携わる専門的な知識および技能を有する医師（常勤であることが望ましい）、精神症状の緩和に携わる専門的な知識および技能を有する医師（常勤であることが望ましい）、緩和ケアに携わる専門的な知識および技能を有する常勤の看護師は指定要件に含まれることに留意して記載すること。

緩和ケアチームの名称		子どもサポートチーム		
職種		常勤／非常勤	専門分野	資格等
例	医師、看護師、薬剤師		麻酔科、精神科、がん看護	緩和ケアに関するものを3つまで記載してください。
1	医師	常勤	緩和医療科、小児総合診療科	日本小児科学会専門医(2005年) カーディフ大学緩和ケア認定医(2008年) 日本緩和医療学会暫定指導医(2011年)
2	医師	常勤	緩和医療科、小児総合診療科	日本小児科学会専門医(2009年)
3	医師	常勤	児童青年精神科	日本精神神経学会認定精神科指導医(2014年) 日本総合病院精神医学会専門医(2014年) 精神保健指定医(2012年)
4	看護師	常勤	緩和ケア	緩和ケア認定看護師(2010年)
5	看護師	常勤	がん化学療法	がん化学療法看護認定看護師(2012年)
6	看護師	常勤	在宅調整	
7	看護師	常勤	在宅調整	
8	薬剤師	常勤	緩和ケア	がん薬物療法認定薬剤師(2011年) 小児薬物療法認定薬剤師(2013年)
9	ホスピタル・プレイ・スペシャリスト	常勤		ホスピタル・プレイ・スペシャリスト(英国) 保育士
10	臨床心理士	常勤		公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会 臨床心理士(1989年)

緩和ケアチームへの患者紹介の手順

記載の有無

あり

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名: 地方独立行政法人 大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター

緩和ケアチームへの患者紹介の手順について記載すること。必要に応じて図を用いても構いません。1枚におさめること。

このシートに貼付することが難しい場合、ファイル名の頭に別紙8を付けた電子ファイル、別添資料を提出すること。

別添資料の提出有無

なし

(あり/なし)

ファイル形式

(ワード/一太郎/リッチテキスト/エクセル/パワーポイント/PDF/その他)

その他の場合ファイル形式を記載してください。

入院中の場合

「子どもサポートチーム相談依頼書」を記載し電子カルテ上で依頼する（患者・家族へ直接介入する時は、主治医より患者・家族へ介入の同意を得ておくこと）依頼を確認したチーム・メンバーが情報を収集し、サブチーム（ペインチーム 心理的サポートチーム プレイサービスチーム 在宅支援チーム）のリーダーに連絡する。依頼のあったチームリーダーは迅速に病棟訪問し、介入（あるいはコンサルテーションのみの対応）を開始する。介入開始後はオン・ディマンドの対応に加えて、週一回のチームカンファレンス、病棟カンファレンス、チーム回診で継続的にチーム内及び各病棟との情報共有を図る。

当院外来通院中の場合

主治医か子どもサポートチームのメンバーが、緩和ケアチーム外来（月～金）を予約し、外来受診してもらう。

他院で治療中の場合

小児血液腫瘍科の初診外来を受診していただき、緩和ケアチーム外来を予約してもらう。

緩和ケア病棟への入院希望の場合

当院は、小児専門の緩和ケア病床を緩和ケア病棟内に設置している。緩和ケア病棟での治療は緩和医療科と小児血液腫瘍科と子どもサポートチームが合同であたる。緩和ケア病棟の利用にあたっては、当院治療中であれば直接、小児緩和ケア医に相談する。他院で治療中の場合は、一旦、小児血液腫瘍科へ紹介された後、小児緩和ケア医に相談する。

がん告知時のカウンセリング

大阪府にがんカウンセリング登録している認定看護師が告知に同席し、その後フォローする。

緩和ケア外来の状況

記載の有無

あり

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名： 地方独立行政法人 大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター

期間： 平成28年9月1日現在

1	緩和ケア外来が設定されている（はい/いいえ）															はい		
2	緩和ケア外来の名称		緩和ケアチーム外来															
3	担当診療科名		緩和医療科															
4	診療曜日・時間 ※時間は、半角で24時間表記にて記載		曜日	9	時	00	分	～	16	時	00	分	～	時	00	分		
			曜日		時	00	分	～		時	00	分	～	時	00	分		
			曜日		時	00	分	～		時	00	分	～	時	00	分		
5	主な診療内容・特色		疼痛緩和、症状緩和、療養場所の選択、心理社会的な支援、地域・在宅医療チームとの連携など															
6	緩和ケア外来の説明が掲載されているページ		見出し	緩和医療科							アドレス	http://www.osakacity-hp.or.jp/ocgh/department/kanwakea/kanwaichiran.html						
7	他施設でがんの診療を受けている、または、診療を受けていた患者さんを受け入れている（はい/いいえ）															いいえ		
8	■地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口が設定されている（はい/いいえ）															はい		
	窓口の名称		がん相談支援センター															
	電話		代表	06-6929-1221				(内線)				直通	06-6929-3632					
	対応曜日と対応時間 ※時間は、半角英数で24時間表記にて記載 ※土・日曜日は、対応している場合のみ記載 →「毎週」などの選択をしてください		月～金曜日		9	時	00	分	～	17	時	00	分	～	時	00	分	
			月～金曜日の対応時間が曜日によって異なる場合		曜日		時	00	分	～		時	00	分	～	時	00	分
					曜日		時	00	分	～		時	00	分	～	時	00	分
					曜日		時	00	分	～		時	00	分	～	時	00	分
					曜日		時	00	分	～		時	00	分	～	時	00	分
			土曜日		時	00	分	～		時	00	分	～	時	00	分		
			日曜日		時	00	分	～		時	00	分	～	時	00	分		
祝祭日、年末年始以外の休み（創立記念日など）		なし																
9	■地域の医療機関向けの問い合わせ窓口が設定されている（はい/いいえ）															はい		
	窓口の名称		がん相談支援センター															
	電話		代表	06-6929-1221				(内線)				直通	06-6929-3632					
	対応曜日と対応時間 ※時間は、半角英数で24時間表記にて記載 ※土・日曜日は、対応している場合のみ記載 →「毎週」などの選択をしてください		月～金曜日		9	時	00	分	～	17	時	00	分	～	時	00	分	
			月～金曜日の対応時間が曜日によって異なる場合		曜日		時	00	分	～		時	00	分	～	時	00	分
					曜日		時	00	分	～		時	00	分	～	時	00	分
					曜日		時	00	分	～		時	00	分	～	時	00	分
					曜日		時	00	分	～		時	00	分	～	時	00	分
			土曜日		時	00	分	～		時	00	分	～	時	00	分		
			日曜日		時	00	分	～		時	00	分	～	時	00	分		
祝祭日、年末年始以外の休み（創立記念日など）		なし																

緩和ケア病棟の状況

記載の有無 あり

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名: 地方独立行政法人 大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター

期間: 平成28年9月1日現在

※緩和ケア病棟が設定されている場合に限り、「2」以降を記載してください。

1	緩和ケア病棟を有している	病棟があります			
2	緩和ケア病棟入院料の届出・受理	届け出て受理されている			
3	小児の入院可否	可			
4	緩和ケア病棟の形式	院内病棟型			
5	緩和ケア病棟の病床数	24	床		
6	緩和ケア病棟の説明が掲載されているページの見出しとアドレス ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください。	見出し			
		アドレス	http://		
7	他施設でがんの診療を受けている、または、診療を受けていた患者さんを受け入れている (はい/いいえ)	いいえ			
8	入院予約後の入院までの待機期間 ※転棟、緊急入院を除く	4日			
9	緩和ケア病棟を担当するスタッフの職種・人数(人) ※常勤・非常勤、専従・専任・兼任などに関わらず、緩和ケア病棟の診療に携わっているスタッフについて記載してください。	(例) 医師	2	(例) 精神保健福祉士	1
		医師	5		
		看護師	23		
		看護助手	1		
		薬剤師	2		
		臨床心理士	1		
		ソーシャルワーカー	1		
		栄養士	1		

■地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口が設定されている(はい/いいえ)														はい																	
窓口の名称														がん相談支援センター																	
電話														代表		06-6929-1221				(内線)		直通		06-6929-3632							
10	対応曜日と対応時間														月～金曜日		9時00分～		17時00分				時00分～		時00分						
	月～金曜日の対応時間が曜日によって異なる場合														曜日		時00分～		時00分				時00分～		時00分						
															曜日		時00分～		時00分				時00分～		時00分						
															曜日		時00分～		時00分				時00分～		時00分						
	土曜日																時00分～		時00分				時00分～		時00分						
	日曜日																時00分～		時00分				時00分～		時00分						
祝祭日、年末年始以外の休み(創立記念日など)														なし																	
問い合わせ窓口について掲載しているホームページ														見出し		がん相談支援センター				アドレス		http://www.osakacity-hp.or.jp/ocgh/gaiyou/iryuu/kyoten/madoguchi.html									
■地域の医療機関向けの問い合わせ窓口が設定されている(はい/いいえ)														はい																	
窓口の名称														がん相談支援センター																	
電話														代表		06-6929-1221				(内線)		直通		06-6929-3632							
11	対応曜日と対応時間														月～金曜日		9時00分～		17時00分				時00分～		時00分						
	月～金曜日の対応時間が曜日によって異なる場合														曜日		時00分～		時00分				時00分～		時00分						
															曜日		時00分～		時00分				時00分～		時00分						
															曜日		時00分～		時00分				時00分～		時00分						
	土曜日																時00分～		時00分				時00分～		時00分						
	日曜日																時00分～		時00分				時00分～		時00分						
祝祭日、年末年始以外の休み(創立記念日など)														なし																	
問い合わせ窓口について掲載しているホームページ														見出し		がん相談支援センター				アドレス		http://www.osakacity-hp.or.jp/ocgh/gaiyou/iryuu/kyoten/madoguchi.html									
12 緩和ケア病棟の設備														例:家族用キッチン、家族室、談話室、ランドリー、デイルーム(食事や面会者との談話、ボランティアによるティーサービスがある)、特殊入浴室 電磁調理器、談話室、ランドリー、デイルーム、浴室、特殊入浴室、家族控室(2部屋)、冷蔵庫、レンジ、トースター																	
13	病室の形態と室料および室数														病室の名称・形態		室数		室料(差額室料)		病室の設備										
	例:(特別個室・一般個室・2人床室など)																例:10,000円/日 無差額など		例:電動ベッド、トイレ、バス、床頭台、オーバーテーブル、洗面台、冷蔵庫、液晶テレビ、カウンターデスク、チェスト、ソファベッド、インターネット接続など												
	特室														3		21,500円/日 (大阪市内、八尾市) 25,920円/日		電動ベッド、トイレ、バス、床頭台、オーバーテーブル、洗面台、冷蔵庫、液晶テレビ、DVD、カウンターデスク、チェスト、ソファベッド、スタンド(2)、電話、ポット、流し台												
	個室														8		8,640円/日 (大阪市内、八尾市) 10,360円/日		電動ベッド、トイレ、シャワー床頭台、冷蔵庫、液晶テレビ、DVD、ソファベッド(4部屋)、椅子(2個、4部屋)、丸テーブル、電話、ポット、流し台												
	個室(小児・ユニバーサル・ワンダー)														1		0円/日		電動ベッド、トイレ、バス、床頭台、オーバーテーブル、洗面台、冷蔵庫、液晶テレビ、カウンターデスク、チェスト、ソファベッド、スタンド、電話、ポット、流し台												
	個室														12		0円/日		電動ベッド、トイレ、シャワー床頭台、冷蔵庫、液晶テレビ、DVD、ソファベッドor椅子、丸テーブル、ポット、流し台												
																円/日															
																円/日															
14 訪問看護ケアの有無														例:自施設で実施している、同一医療法人の施設で実施している、連携している訪問看護ケアステーションを紹介している、など なし																	

地域の医療機関との連携協力体制

記載の有無

あり

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名： 地方独立行政法人 大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター

地域の医療機関との連携協力体制について自施設の取り組みや今後の予定を記載すること。(例：診療実績の少ない●●については××病院と協力。●●治療については××病院へ紹介。小児がん患者の在宅医療については●●診療所と連携し、急変時には受け入れることとしている。成人領域については××病院と協力し定期的に情報共有を図っている。)2枚におさめること。

このシートに貼付することが難しい場合、**ファイル名の頭に別紙11を付けた**電子ファイル、別添資料を提出すること。

別添資料の提出有無

なし

(あり/なし)

ファイル形式

(ワード/一太郎/リッチテキスト/エクセル/パワーポイント/PDF/その他)

その他の場合ファイル形式を記載してください。

○遠隔地からの患者：

原則として初期治療が終了し、地域での診療が可能と判断された場合は、地域の小児がん診療病院と協議を行った上で地域に戻って診療を行っている。
必要な場合は、当院に定期的(年2-4回)に受診を行う。

→実績：愛媛県(愛媛県立中央病院)、山口県(岩国医療センター)、岡山県(倉敷中央病院、岡山医療センター)、兵庫県(尼崎総合医療センター、神戸大学、兵庫県立こども病院)、東京都(国立がんセンター中央病院)、富山県(黒部市民病院)などの医療機関との連携がある。

○当院で実施している治験や臨床試験(がんワクチンなど)に参加する患者：

全国で実施している施設が少ないものでは、対象地域は広域となる。

→実績：奈良県立医科大学、京都大学、大阪大学、兵庫県立こども病院、岡山大学、金沢大学など

○近畿ブロックの患者：

近畿ブロック小児がん拠点病院協議会、同小児がん診療病院連絡会を組織し、診療連携の強化を行っている。拠点病院間では治験対象症例の

リクルートなどが中心となる。地域のがん診療病院からは、再発例や難治例の紹介や、大量化学療法、手術、中心静脈カテーテル挿入術などの治療を引き受けている。

○大阪府内の連携

大阪府内小児がん診療施設10施設の診療機能の向上を目的として、それぞれ脳腫瘍、固形腫瘍、造血器腫瘍を対象とした症例検討会を定期開催している。
緩和ケア、療養環境の向上のため、それぞれについての部会を立ち上げ、機能向上を図っている。

○AYA世代患者:

近隣の大阪府立成人病センターと連携を行っている。骨軟部肉腫症例で院内学校の必要な例、進行例、合併症を有する例などの紹介を受けている。
30歳以上は当院の臨床腫瘍内科が主となっているが、小児がんの合同カンファレンスで治療方針を決定している。

○地域連携:

在宅医療については、患者居住地域の在宅医療診療所および看護ステーションに当院小児がん専従社会福祉士が橋渡しを行っている。
入院診療が必要な場合は24時間随時受け入れを行っている。

○当院では実施できない治療のための連携:

眼球温存の適応となる網膜芽腫(国立がん研究センター)、肝移植(大阪大学)、肺移植(岡山大学)、陽子線治療(静岡県立がんセンター、筑波大学)

小児がんに対して、手術、放射線療法または化学療法に携わる専門的な知識 および技能を有する医師によるセカンドオピニオンを提示する体制

記載の有無 あり

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名: 地方独立行政法人 大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター
 期間: 平成28年9月1日現在(実績は平成27年1月1日～12月31日)

疾患ごとに、セカンドオピニオンを担当する医師に関する情報を5名まで記載してください。
 ※対応状況で「対応不可」を選択した場合は、「セカンドオピニオンを担当している医師」に関する表への記載は不要です。

小児脳腫瘍						
○	※別紙2を反映 ○: 専門とするがん ×: 診療を実施していないがん	対応状況 (対応可/対応不可)	対応可	昨年の実績 ※平成27年1月1日～12月31日まで	10件以下(月1件程度)	
セカンドオピニオンを担当している医師	所属している診療科	当該疾患に対する専門性 (専門:○/専門外:×)	当該疾患の専門分野(専門:○/専門外:×)			
			手術	化学療法	放射線療法	その他※具体的に記載してください
1人目	小児脳神経外科	○	○	×	○	当センターでは、脳腫瘍のトータルケアが可能です。
2人目	小児血液腫瘍科	○	×	○	×	思春期～若年成人にも力を入れています。
3人目	放射線腫瘍科	○	×	×	○	
4人目						
5人目						

小児の眼・眼窩腫瘍						
○	※別紙2を反映 ○: 専門とするがん ×: 診療を実施していないがん	対応状況 (対応可/対応不可)	対応可	昨年の実績 ※平成27年1月1日～12月31日まで	0件	
セカンドオピニオンを担当している医師	所属している診療科	当該疾患に対する専門性 (専門:○/専門外:×)	当該疾患の専門分野(専門:○/専門外:×)			
			手術	化学療法	放射線療法	その他※具体的に記載してください
1人目	小児眼科	○	○	×	×	
2人目	小児血液腫瘍科	○	×	○	×	
3人目	放射線腫瘍科	○	×	×	○	
4人目						
5人目						

小児悪性骨軟部腫瘍

○	※別紙2を反映 ○: 専門とするがん ×: 診療を実施していないがん	対応状況 (対応可/対応不可)	対応可	昨年の実績 ※平成27年1月1日～12月31日まで	0件	
セカンドオピニオンを担当している医師	所属している診療科	当該疾患に対する専門性 (専門:○/専門外:×)	当該疾患の専門分野(専門:○/専門外:×)			
			手術	化学療法	放射線療法	その他※具体的に記載してください
1人目	整形外科	○	○	○	○	
2人目	小児血液腫瘍科	○	×	○	×	思春期～若年成人にも力を入れています。
3人目	放射線腫瘍科	○	×	×	○	
4人目						
5人目						

その他の小児固形腫瘍

○	※別紙2を反映 ○: 専門とするがん ×: 診療を実施していないがん	対応状況 (対応可/対応不可)	対応可	昨年の実績 ※平成27年1月1日～12月31日まで	10件以下(月1件程度)	
セカンドオピニオンを担当している医師	所属している診療科	当該疾患に対する専門性 (専門:○/専門外:×)	当該疾患の専門分野(専門:○/専門外:×)			
			手術	化学療法	放射線療法	その他※具体的に記載してください
1人目	小児外科	○	○	×	×	小児血液・がん学会認定の小児がん認定外科医が3名在籍しています。
2人目	小児血液腫瘍科	○	×	○	×	治験や先進医療も行っています。
3人目	放射線腫瘍科	○	×	×	○	
4人目	小児耳鼻咽喉科	○	×	×	×	
5人目						

小児血液腫瘍

○	※別紙2を反映 ○: 専門とするがん ×: 診療を実施していないがん	対応状況 (対応可/対応不可)	対応可	昨年の実績 ※平成27年1月1日～12月31日まで	10件以下(月1件程度)	
セカンドオピニオンを担当している医師	所属している診療科	当該疾患に対する専門性 (専門:○/専門外:×)	当該疾患の専門分野(専門:○/専門外:×)			
			手術	化学療法	放射線療法	その他※具体的に記載してください
1人目	小児血液腫瘍科	○	○	○	×	HALが合わない移植やミニ移植に積極的に取り組んでいます。
2人目	放射線腫瘍科	○	×	×	○	
3人目						
4人目						
5人目						

セカンドオピニオンの問い合わせ窓口

記載の有無 **あり**

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名: 地方独立行政法人 大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター
 期間: 平成28年9月1日現在

■ 病院のホームページで「セカンドオピニオン」の説明が掲載されているページの内容

ホームページ	見出し	セカンドオピニオン	アドレス	http://www.osakacity-hp.or.jp/ocgh/for_patient/senmon/s	
問い合わせ先の電話など	対応可能な疾患名	対応した患者数(実績)	担当する医師の情報		保険診療、または保険外診療である旨
掲載あり	掲載あり	掲載あり	医師名	診療科	専門分野
			掲載なし	掲載あり	掲載あり
					掲載あり

■ 問い合わせ窓口の情報

1										地域 の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口が設定されている(はい/いいえ)										はい	
窓口の名称										総合相談窓口											
電話					代表					06-6929-1221					(内線)						
					直通1										直通2						
対応曜日と対応時間					月～金曜日					9時00分～					17時00分～						
※時間は、半角英数で24時間表記にて記載 ※土・日曜日は、対応している場合のみ記載→「毎週」などの選択をしてください					月～金曜日の対応時間が曜日によって異なる場合					曜日					曜日						
					曜日					曜日					曜日						
					土曜日					曜日					曜日						
					日曜日					曜日					曜日						
祝祭日、年末年始以外の休み(創立記念日など)										なし											
2										地域 の医療機関向けの問い合わせ窓口が設定されている(はい/いいえ)										はい	
窓口の名称										がん相談支援センター											
電話					代表					06-6929-1221					(内線)						
					直通1					06-6929-3632					直通2						
FAX番号					直通1										直通2						
電子メール					1																
					2																
対応曜日と対応時間					月～金曜日					9時00分～					17時00分～						
※時間は、半角英数で24時間表記にて記載 ※土・日曜日は、対応している場合のみ記載→「毎週」などの選択をしてください					月～金曜日の対応時間が曜日によって異なる場合					曜日					曜日						
					曜日					曜日					曜日						
					土曜日					曜日					曜日						
					日曜日					曜日					曜日						
祝祭日、年末年始以外の休み(創立記念日など)										なし											

小児がん患者およびその家族が語り合うための場の設定状況

記載の有無 **あり**

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名: 地方独立行政法人 大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター

小児がん患者の遊びの場(プレイルーム等)やAYA世代の交流・勉強の場、患者家族が語り合うための場(患者サロン等)について記載すること。さらにおもちゃ・図書・パソコン・運動設備等の有無、保育士等の配置などについても記載すること。必要に応じて写真を貼付することも可。**2枚以内におさめること。**

このシートに貼付することが難しい場合、**ファイル名の頭に別紙14を付けた**電子ファイル、別添資料を提出すること。

別添資料の提出有無

なし (あり/なし)

ファイル形式

(ワード/一太郎/リッチテキスト/エクセル/パワーポイント/PDF/その他)

その他の場合ファイル形式を記載してください。

設備について

プレイルーム: 当院には各病棟にプレイルームを設けており、各病棟の入院患児の年齢に合ったおもちゃや図書を用意している。保育士は、ベッドサイドはもちろん、プレイルームも活用しながら患児の成長発達や他児との交流を促している。プレイルームの隣には食堂があり、体調の許す限り他児と一緒に食事をとることを推奨しており、良い交流の場となっている。食事の時間以外は面会者と気兼ねなく話ができる場所として開放している。

学習室: 学童病棟には、患児がいつでも落ち着いて学習できるように、NPO法人ゴールドリボンネットワークとNPO法人エスビューローのご支援のもとできあがった学習室がある。特に院内学級のない高校生や私学に通っている患児がこの部屋で試験を受けたり、大阪府高校講師派遣事業の訪問学習を受けたりしている。また、試験前などは患児同士が声をかけ合い、勉強会をするなど、勉強を通じて交流が生まれる場ともなっている。パソコンやテレビ、CDプレイヤー、ソファも設置しているため、学習以外にも静かに過ごしたい時にも活用されている。

院内学級: 大阪市立光陽特別支援学校の分教室(小学部・中学部)があり、4つの教室が常設されている。長期入院が決まったら早期に原籍校・院内学級・主治医・担当看護師・MSWで入院中どのような教育支援・原籍校との交流を行っていくかを話し合う。退院時には再び病院側と原籍校でカンファレンスを行い、復学支援について検討する。院内学級では座学だけでなく、大阪市の施設に遠足に行く等、体験学習も大切にしている。

患者図書室: 平成22年9月に開設された「患者図書室 やわらぎ空間さくら ーみんなの医療情報AからZまでー」では病気や治療に関する本だけでなく、子ども向けの本も多数設置しており、入院中の患児はもちろん外来通院中の患児や家族も自由に閲覧することができる。また、インターネットの使えるパソコンも設置してあるため、情報収集に利用していただいている。

わくわくひろば: 平成25年10月にオープンしたきょうだい支援室「わくわくひろば」では、入院児・外来通院児のきょうだいを保育士がお預かりし、安心して、楽しく待っていただけるように支援している。また、年に数回、ボランティア団体の「しぶたね」と協力して「きょうだいの日」を開催し、同じ境遇のきょうだい同士の交流、家族同士の交流を促している。

保育士: 当院には4つの小児病棟に5名の保育士を配置しており、所属病棟以外にも交代で「わくわくひろば」でのきょうだい支援や成人病棟に入院している患児への保育の提供を実施している。また、積極的にボランティアを受け入れ、年齢に合わせたイベントを企画・実施している。

交流を促す活動

10代の会: HPSが週1回2時間程度、入院中の10歳以上の患児を対象に行っている。この会では患児たちの主体性を重視しているため、その日の活動(遊び、話し合い、勉強など)はすべて患児たちが決めており、時には会の参加者がお祭りを企画して、年少児を招待するという見られる。病室では家族やスタッフの目が気になってできない病気の話や亡くなった他児の話などを話す場として機能している。

外来交流会: 緩和ケア認定看護師、小児がん専門MSW、ホスピタル・プレイ・スペシャリスト、小児がん専門臨床心理士が中心となって、外来通院中の小児がん患児・家族を対象に月1回交流会を実施している。退院後、途切れがちな病気仲間とのつながりを維持し、孤立を防ぐとともに、診察では語られないニーズを拾う場として機能している。

てらこや: 小児がん担当MSWを中心に大阪教育大学学習ボランティアと共に外来通院患児に毎週学習支援を行っている。学習意欲を高めることだけでなく、「勉強」を通して他者とつながることで孤立を防いだり、診察では語られない学習面でのニーズを拾う場として機能した。なお、昨年度から入院患者も対象としている。

AYAの会 AYA世代患者の社会的孤立を防止するため、体験や悩みを話すことを通じて交流を深められる会を開催している。



プレイルーム



ゴールドリボンe学習室



大阪市立光陽特別支援学校分教室



患者図書室

絵本を含め、蔵書数が1,700冊を超えたので、新しく書架を購入いたしました。絵本を棚下段に並べ、お子さんにも見やすくしています♪



わくわくひろば



AYAの会案内



10代の会



外来交流会



セラピー的諸活動

小児がん患者およびその家族が語り合うための場

記載の有無

あり

「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名： 地方独立行政法人 大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター

期間：平成28年9月1日現在

語り合うための場総件数： 6

1. 小児がん患者およびその家族が語り合うための場を記載してください。

	名称	主催者名	病院 職員 の 関与	活動状況		病名	参加対象者		主な活動内容	参加対象者向けの 院内の問い合わせ窓口 (窓口の名称・電話番号)
				定期 /不定期	頻度 (回)		院外からの参加 (参加可/参加不可)	患者のみ /家族のみ /患者・家族		
例	会	会	なし	定期	週 1	小児がん	参加可	患者・家族	小児がん患者の親の交流会を開催している。	名称 相談支援センター 電話番号 XXX-XXXX-XXXX直通
1	10代の会	当院	あり	定期	月 2	小児がん	参加不可	患者のみ	小が校高学年以上の世代の交流を目的としている。病棟プレイルーム、教室で開催	名称 医事課 電話番号 06-6929-1221
2	てらこや	当院	あり	定期	週 1	小児がん	参加不可	患者のみ	大阪教育大学生ボランティアとMSW、療育支援室で個別指導をしている。	名称 医事課 電話番号 06-6929-1221
3	外来交流会	当院	あり	定期	月 1	小児がん	参加不可	患者・家族	HPSが中心となって外来通院中の患者と家族が交流する場を設けている。	名称 医事課 電話番号 06-6929-1221
4	がん患者サポートクラブ	緩和ケアセンター、がん相談支援センター	あり	定期	月 1	すべてのがん	参加不可	患者・家族	ヨガ、アロマやミニ講座によりリラクゼーションや日々の療養に役立つヒントを得られる機会、また、参加者らの交流を深める場を提供	名称 がん患者サポートクラブ事務局 電話番号 06-6929-1221
5	全国小児がん大会	NPO法人エスビューロー	あり	定期	年 1	小児がん	参加可	患者・家族	毎年8月に2・3日間、患者と家族が交流する。講演会、勉強会、野外活動などを行っている。	名称 医事課 電話番号 06-6929-1221
6	AYA世代患者交流会	当院	あり	不定期	年 2	小児がん	参加不可	患者のみ	高校生以上の世代を対象としている。社会の中で孤立しがちな世代であるため、ピアサポートを醸成するための場としている。今後は、開催頻度を増やす予定。	名称 医事課 電話番号 06-6929-1221
7										名称 電話番号
8										名称 電話番号
9										名称 電話番号
10										名称 電話番号

2. 患者および家族向けの図書室の設置状況を記載してください。

院内の相談支援センターなどの図書室について記載してください。院内図書室以外は3ページ目に記載してください。

1	患者および家族向けの図書室の設置	設置あり	「設置あり」の場合に限り、以下を記載してください。																		
2	図書室の名称	やわらぎ空間 さくら																			
3	図書室の説明が掲載されているページの見出しとアドレス アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	見出し	患者図書室																		
		アドレス	http://www.osakacity-hp.or.jp/ocgh/gaiyou/shisetsu/toshokan.html																		
4	利用者の制限 選択肢に含まれていない場合はその他の欄に記載	その他	貸出は入院患者のみ 閲覧は制限なし																		
5	医療系の資料 冊数または種類の数 貸し出しの制限	図書		雑誌				医療系のビデオ・DVD		医療系の冊子											
		医学専門書	一般向け医療系図書	医学専門雑誌	一般向け医療系雑誌																
		100冊以上	300冊以上	10種類未満	0	10種類未満		25種類以上													
6	利用可能な機器	インターネット接続可能なパソコン			プリンター				コピー機												
		設置あり			設置なし				設置なし												
7	問い合わせ先電話番号 電話番号は半角英数で「-」を用いて記載 内線は、設置されている場合のみ記載	代表	06-6929-1221				(内線)		5951												
		直通1					直通2														
8	利用可能な曜日と時間 時間は、半角英数で24時間表記にて記載 土・日曜日は、対応している場合のみ記載 「毎週」などの選択をしてください	月～金曜日		10	時	00	分	～	16	時	00	分		時	00	分	～		時	00	分
		月～金曜日の対応時間が曜日によって異なる場合	曜日		時	00	分	～		時	00	分		時	00	分	～		時	00	分
			曜日		時	00	分	～		時	00	分		時	00	分	～		時	00	分
			曜日		時	00	分	～		時	00	分		時	00	分	～		時	00	分
		土曜日		時	00	分	～		時	00	分		時	00	分	～		時	00	分	
		日曜日		時	00	分	～		時	00	分		時	00	分	～		時	00	分	
祝祭日、年末年始以外の休み(創立記念日など)																					
9	対応職員の職種等・人数	(例)看護師	1	人	ボランティア				2	人											
		事務員	2	人						人											
				人						人											
10	ピアサポーターによる対応(実施/未実施) 対応曜日と対応時間	未実施																			
		曜日		時	00	分	～		時	00	分		時	00	分	～		時	00	分	
		曜日		時	00	分	～		時	00	分		時	00	分	～		時	00	分	
		曜日		時	00	分	～		時	00	分		時	00	分	～		時	00	分	

3. 院内の相談支援センターなどの図書室以外の場所に図書等が設置されている場合を記載してください。

1	院内図書室以外の場所に図書等の設置	設置なし	「設置あり」の場合に限り、以下を記載してください。																	
2	図書等が設置されている場の名称																			
3	図書室の説明が掲載されているページの見出しとアドレス アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	見出し																		
		アドレス	http://																	
4	利用者の制限 選択肢に含まれていない場合はその他の欄に記載	その他																		
5	医療系の資料 冊数または種類の数 貸し出しの制限	図書		雑誌				医療系のビデオ・DVD		医療系の冊子										
		医学専門書	一般向け医療系図書	医学専門雑誌	一般向け医療系雑誌															
6	利用可能な機器	インターネット接続可能なパソコン				プリンター				コピー機										
7	問い合わせ先電話番号 電話番号は半角英数で「-」を用いて記載 内線は、設置されている場合のみ記載	代表					(内線)													
		直通1					直通2													
8	利用可能な曜日と時間 時間は、半角英数で24時間表記にて記載 土・日曜日は、対応している場合のみ記載 「毎週」などの選択をしてください	月～金曜日		時	00	分	～	時	00	分	時	00	分	～	時	00	分			
		月～金曜日の対応時間が曜日によって異なる場合		曜日	時	00	分	～	時	00	分	曜日	時	00	分	～	時	00	分	
				曜日	時	00	分	～	時	00	分	曜日	時	00	分	～	時	00	分	
				曜日	時	00	分	～	時	00	分	曜日	時	00	分	～	時	00	分	
		土曜日		時	00	分	～	時	00	分	時	00	分	～	時	00	分	時	00	分
		日曜日		時	00	分	～	時	00	分	時	00	分	～	時	00	分	時	00	分
祝祭日、年末年始以外の休み(創立記念日など)																				
9	対応職員の職種等・人数	(例) 看護師	1	人	ボランティア				2	人										
				人						人										
				人						人										
10	ピアサポーターによる対応(実施/未実施)																			
		曜日	時	00	分	～	時	00	分	曜日	時	00	分	～	時	00	分			
		曜日	時	00	分	～	時	00	分	曜日	時	00	分	～	時	00	分			
	曜日	時	00	分	～	時	00	分	曜日	時	00	分	～	時	00	分				

診療実績等

記載の有無

あり

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名： 地方独立行政法人 大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター

	年間診断例(※) (平成27年1月1日～12月31日)		年間診断例(※) (平成27年1月1日～12月31日)
造血器腫瘍合計	26	固形腫瘍合計	31
ALL	12	神経芽腫瘍群	7
AML	2	網膜芽腫	0
まれな白血病	1	腎腫瘍	3
MDS/MPDのうちCML	1	肝腫瘍	1
MDS/MPDのうちCMLを除く	1	骨腫瘍	1
Non-Hodgkin Lymphoma	5	軟部腫瘍	2
Hodgkin Lymphoma	0	胚細胞腫瘍	2
その他のリンパ増殖性疾患	0	脳・脊髄腫瘍	13
組織球症(HLH)	1	その他(診断名も記載すること)	上咽頭がん 1 悪性末梢神経鞘腫 1
組織球症(LCH)	3		
その他の組織球症	0		
その他の造血器腫瘍	0		
Down症TAM 登録	0		

※18歳以下の初発診断例とする。セカンドオピニオンは除く。

小児がんに関するカンファレンスや勉強会等の開催状況

記載の有無

あり

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名: 地方独立行政法人 大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター

開催されたカンファレンス等の総回数: 10

期間: 平成27年1月1日～12月31日

医療従事者等を対象とした小児がんに関するカンファレンスや勉強会等の開催状況について記載すること。

開催年月日	名称	参加対象者 (自施設外の者も参加可能であればその旨記載すること。)	内容	
1	2015年8月6、7、8日	小児がん脳腫瘍全国大会	医療従事者(外部参加可)、教師、小児がん患児・家族	患者団体エスビューローと共催。患者・家族への心理社会的支援や最新の小児がん情報について
2	2015年9月3日	がんサーボード	二次医療圏医療従事者	チーム医療カンファレンス: AYA世代の治療について
3	2015年1月17日	小児医療センター主催学習会	全国の看護師、薬剤師、院内学級教師など	小児血液腫瘍科各医師が以下のテーマについてレクチャー: 白血病・脳腫瘍・固形腫瘍・造血細胞移植の治療、化学療法・支持療法で使用される薬剤、晩期合併症と長期フォローアップ、AYA世代の特殊性、心理社会的支援
4	2015年1月31日	小児がんカンファレンス	当院のほか、大阪府、兵庫県、滋賀県の小児がん診療施設(外部参加可)	各施設の小児がん症例の検討会
5	2015年8月22日	小児がんカンファレンス	当院のほか、大阪府、兵庫県、滋賀県の小児がん診療施設(外部参加可)	各施設の小児がん症例の検討会
6	2015年1月23日	子どもサポートクラブ	子どもサポートクラブに興味のある医療従事者(自施設以外の医療者も参加可能)	「当院におけるビーズの取り組み」～復学支援って何?～
7	2015年2月27日	子どもサポートクラブ	子どもサポートクラブに興味のある医療従事者(自施設以外の医療者も参加可能)	「小児緩和ケア」～地域と連携したターミナルケア～
8	平成27年9月24	子どもサポートクラブ	子どもサポートクラブに興味のある医療従事者(自施設以外の医療者も参加可能)	「プレパレーションについて考えよう」～子ども目線とプレパレーション・実践報告～

9	平成27年11月20日	子どもサポートくらぶ	子どもサポートくらぶに興味のある医療従事者(自施設以外の医療者も参加可能)	「ハンディキャップを抱える子とその家族への援助」
10	平成27年11月14日	小児緩和ケアチームカンファレンス	全国の緩和ケア従事者	全国の小児緩和ケアに従事する医療従事者が共に緩和ケアを学ぶカンファレンス
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				

小児がんに関する研修プログラムの状況

記載の有無

あり

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名: 地方独立行政法人 大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター

プログラムの総件数: 4

プログラム名	期間	対象者	H27年度(人)	H28年度(人)	H24年度以降のプログラム修了者(人)	H24年度以降プログラム修了者の現在の勤務先					プログラムの特徴
	例 2年	例 医師卒後 〇年～〇年				自施設 (人)	自施設以外				
							大学 病院 (人)	小児 病院 (人)	それ以外の 総合病院 (人)	その他 (人)	
1 小児総合診療コース	3ヶ月	医師卒後2-3年	4	3	17	9	0	1	5	2	小児科後期研修の一環 血液腫瘍疾患の急性期や緊急対応が可能な小児科医を育成する。
2 小児総合診療コース	1年	医師卒後4年	0	0	0	0	0	0	0	0	専門コースの準備のためのステップ
3 小児血液・がん専門医育成コース	3年	医師卒後5-7年	3	2	2	1	0	0	1	0	小児血液・がん専門医育成のためのプログラム 主治医として、かつ前期レジデントの指導者として教育を受ける。
4 小児がん・緩和ケア短期研修コース	1年	医師卒後2年以降	0	0	1	1	0	0	0	0	多施設で小児がん・血液専門医の研修を受けている小児科医に対し、自施設では経験が不足する分野(脳腫瘍医療、ハプロ移植、小児緩和ケアなど)を補うためのプログラム
5											

相談支援センターの体制

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

記載の有無

あり

病院名： 地方独立行政法人 大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター
平成28年9月1日現在

相談支援センターの名称、体制、メンバーについて記載すること。個人情報に記載しないよう注意すること。

相談支援センターの名称		がん相談支援センター							
相談支援センターのメンバー									
職種	常勤／非常勤	専従／専任／兼任	相談業務の 経験年数(年)	相談員基礎研修会の受講状況				中央機関 による研修	
				基礎研修会 (1)	基礎研修会 (2)	基礎研修会 (3)	基礎研修(3) 修了証書番号		
1	看護師	常勤	専従(8割以上)	6	受講	受講	受講	10030643	
2	看護師	常勤	専任(5割以上8割未満)	5	受講	受講	受講	10030701	受講
3	看護師	常勤	専任(5割以上8割未満)	2	受講	受講	受講	1600312024	受講
4	看護師	常勤	専任(5割以上8割未満)	2	受講	受講	未受講		受講
5	看護師	常勤	兼任(5割未満)	4	受講	受講	受講	13030236	
6	看護師	常勤	兼任(5割未満)	3	受講	受講	受講	12030128	受講
7	看護師	常勤	兼任(5割未満)	5	受講	受講	未受講		
8	看護師	常勤	専任(5割以上8割未満)	4	受講	受講	受講	15031252	受講
9	看護師	常勤	専任(5割以上8割未満)	5	受講	受講	受講	14030139	受講
10	看護師	常勤	兼任(5割未満)	4	未受講	未受講	未受講		
11	社会福祉士	常勤	兼任(5割未満)	18	未受講	未受講	未受講		
12	社会福祉士	常勤	兼任(5割未満)	5	未受講	未受講	未受講		
13	社会福祉士	常勤	兼任(5割未満)	11	受講	受講	受講	10030724	
14	その他	常勤	兼任(5割未満)	14	受講	受講	未受講		受講
15	その他	非常勤	兼任(5割未満)	3	未受講	未受講	未受講		

●年間の相談総件数(平成27年1月1日～12月31日) 387 件
 上記1件あたりの平均対応時間 平均 20 分 最短 5 分 最長 90 分 中央値 20 分

相談件数(平成28年6月1日～7月31日)

相談者	対面相談	電話相談	FAX相談	E-mail相談	計
1 自施設の患者・家族	520	173	0	0	693
2 他施設の患者・家族	38	218	0		256
合計	558	391	0	0	949

相談支援内容	相談支援の対象者
※相談支援センターで最も力を注いでいる相談支援の内容について下記に5つあげてください。国立がん研究センターのサイト「がん情報サービス」の相談支援センターの紹介欄に掲載する予定です。	
例) がんの診療を行っている医療機関の紹介(70施設を対象に調査を行い、その資料をもとに医療機関の情報を提供しています。)	他施設の患者・家族
1 小児がんの病態、治療をはじめ患者さんやご家族の不安に対する相談(相談対象を小児だけでなく、AYA世代まで幅広く対応しています。また、大阪だけでなく他府県にお住まいの方からの相談にも対応しています。)	自施設と他施設の患者・家族
2 患者さん、ご家族からの復学(復園)支援相談(入院時より専門の相談員が関わり、退院後まで対応しています。)	自施設の患者・家族
3 セカンドオピニオンについての相談、受入(小児がんの患者さんに限定し、面談だけでなく、書面によるセカンドオピニオンを実施しています。)	他施設の患者・家族
4 院内専門チームとの連携(院内で継続したサポートが必要な場合は、多職種で構成されることもサポートチーム等と連携し、患者さんや家族のニーズに対応しています。)	自施設の患者・家族
5 地域医療機関との連携及び情報提供(地域医療機関と連携して患者さんがスムーズに治療継続できる様調整しています。また、地域医療機関の情報収集により必要に応じた情報提供をしています。)	自施設の患者・家族

相談支援センターの状況

記載の有無

あり

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名： 地方独立行政法人 大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター

平成28年9月1日現在

相談支援センターの相談員など、相談支援センターの雰囲気が伝わる画像を貼付してください。
この画像は、国立がん研究センターのサイト「がん情報サービス」の相談支援センターの紹介欄に掲載いたします。
このシートに貼付することが難しい場合、**ファイル名の頭に別紙20を付けた**電子ファイル、別添資料を提出すること。

別添資料の提出有無 (あり/なし)
ファイル形式 (ワード/一太郎/リッチテキスト/エクセル/パワーポイント/PDF/その他)
その他の場合ファイル形式を記載してください。

【必須】相談支援センターページの基本情報で掲載する画像を「1枚」、上記の別添資料の有無に関わらず提出してください。

※横長の写真の方が収まりがよいです。

※上記の別添資料と同じ画像でも構いませんが、写真ファイル名を「別紙20相談支援センター画像」として別に添付してください。

ファイル形式 (PNG/JPEG/GIF/その他)
その他の場合ファイル形式を記載してください。



相談支援センターの問い合わせ窓口

記載の有無 あり

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名： 地方独立行政法人 大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター
 期間： 平成28年9月1日現在

1	相談支援センターの名称	がん相談支援センター																				
2	問い合わせ先電話番号 ※電話番号は半角英数で「-」を用いて記載 ※内線は、設置されている場合のみ記載	代表	06-6929-1221						(内線)													
		直通1	06-6929-3632																			
		直通2																				
		直通3																				
3	受付窓口の対応曜日と対応時間	月～金曜日	9	時	00	分	～	17	時	00	分	～		時	00	分	～		時	00	分	
		曜日		時	00	分	～		時	00	分	～		時	00	分	～		時	00	分	
		曜日		時	00	分	～		時	00	分	～		時	00	分	～		時	00	分	
4	相談の対応曜日と対応時間 ※時間は、半角英数で24時間表記にて記載 ※土・日曜日は、対応している場合のみ記載 →「毎週」などの選択をしてください	月～金曜日	9	時	00	分	～	17	時	00	分	～		時	00	分	～		時	00	分	
		月～金曜日の対応時間が曜日によって異なる場合	曜日		時	00	分	～		時	00	分	～		時	00	分	～		時	00	分
			曜日		時	00	分	～		時	00	分	～		時	00	分	～		時	00	分
			曜日		時	00	分	～		時	00	分	～		時	00	分	～		時	00	分
		土曜日			時	00	分	～		時	00	分	～		時	00	分	～		時	00	分
					時	00	分	～		時	00	分	～		時	00	分	～		時	00	分
日曜日			時	00	分	～		時	00	分	～		時	00	分	～		時	00	分		
祝祭日、年末年始以外の休み(創立記念日など)		なし																				
5	対面相談の実施(実施/未実施)	実施																				
	予約の要否(必要/不要)	不要																				
5	対応曜日と対応時間	月～金曜日	9	時	00	分	～	17	時	00	分	～		時	00	分	～		時	00	分	
		曜日		時	00	分	～		時	00	分	～		時	00	分	～		時	00	分	
		曜日		時	00	分	～		時	00	分	～		時	00	分	～		時	00	分	
5	電話相談の実施(実施/未実施)	実施																				
	相談用の電話番号	代表	06-6929-1221						(内線)													
直通1		06-6929-3632						直通2														
予約の要否(必要/不要)		不要																				
5	対応曜日と対応時間	曜日	9	時	00	分	～	17	時	00	分	～		時	00	分	～		時	00	分	
		曜日		時	00	分	～		時	00	分	～		時	00	分	～		時	00	分	
		曜日		時	00	分	～		時	00	分	～		時	00	分	～		時	00	分	

6	FAX相談の実施（実施/未実施）	未実施																			
	相談用のFAX番号 ※半角英数で記載 ※代表番号は、直通番号がない場合のみ記載	直通1							直通2												
		代表																			
	電子メール相談の実施（実施/未実施）	未実施																			
6	相談用の電子メールアドレス ※半角英数で記載 ※個人のメールアドレスは記載しないでください	1																			
		2																			
7	相談員の職種・人数 ※選択肢に含まれていない職種の場合は、その他の欄に直接記載	(例)精神保健福祉士				2	人	ソーシャルワーカー(上記以外)				1	人								
		看護師				10	人	精神保健福祉士				3	人								
		事務員				2	人						人								
							人						人								
							人	その他	ホスピタル・プレイ・スペシャリスト				1	人							
							人	その他	がん・ライフ・アドバイザー				1	人							
8	ピアサポーターによる対応（実施/未実施）	未実施																			
	対応曜日と対応時間	曜日		時	00	分	～		時	00	分		時	00	分	～		時	00	分
		曜日		時	00	分	～		時	00	分		時	00	分	～		時	00	分
		曜日		時	00	分	～		時	00	分		時	00	分	～		時	00	分
具体的な活動内容																					
9	地域の患者会の情報提供の有無	あり																			
	提供可能な患者会の数	5																			
	上記患者会の参加対象者の疾患名 ※特定の疾患の患者さんや家族を対象とした患者会が含まれている場合のみ記載 (例:乳がん、血液腫瘍、子どものがん、女性のがんなど)	小児がん、大腸がん、膀胱がん																			

小児がん患者団体との連携

記載の有無

あり

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名: 地方独立行政法人 大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター

団体総件数:

5

小児がん患者団体との連携(患者の交流会、勉強会、相談支援、講演会等)があれば記載すること。

小児がん患者団体		具体的な連携の内容 (例:月1回患者交流会を開催している。市民講演会に演者として参加してもらっている。)	
団体名	団体の参加対象者		
1	NPO法人 エス・ビューロー	患者・家族・支援者	毎年、夏に2日または3日間連続の講演会、相談会を小児血液腫瘍科と共催で実施している。2014年は8月9、10日の2日間京都市で開催した。
2	NPO法人 エス・ビューロー	患者・家族・支援者	小児がん経験者の就労、復学支援。ビリーブメントケア
3	NPO法人シャインオンキッズ	患者家族・支援者	ビーズオブカレッジプログラムの提供
4	一般社団法人子どものホスピスプロジェクト	患者家族・支援者	治療中の子どもたちに対する院外レクリエーションやつるみ子どもホスピスでの滞在の提供。ビリーブメントケア
5	しぶたね	患者家族・支援者	入院中患者のきょうだいの預かり保育
6	クリニックラウン	支援者	月2回のクリニックラウンの病棟訪問
7			
8			
9			
10			

地域住民へのメッセージ

記載の有無

あり

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名： 地方独立行政法人 大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター

※本別紙は、国立がん研究センターのサイト「がん情報サービス」のがん診療連携拠点病院のページに掲載することを目的としています。

※各項目200字以内で記載してください。

1	小児がん拠点病院としてのメッセージ
	<p>(例) 当院は、すべてのがん患者さんの治療方針の決定を外科、腫瘍内科、放射線治療等複数の領域の専門家による「がん診療連携拠点病院」によって十分に検討し、最善の治療を行うよう努めております。</p> <p>子どもたちが治療を受けながらも、成長し続けることを担保することを心がけています。AYA世代の人たちには、社会で健全に生活できるよう支援しています。多くの新薬の治験を通じて、最新の治療を提供することを心がけています。</p>
2	相談支援センターからのメッセージ
	<p>(例) 医療ソーシャルワーカーが皆様のお話を伺い、一緒に考え、課題解決のお手伝いをさせていただきます。また、お話をお伺いし、専門の看護師やスタッフをご紹介しますことができます。</p> <p>当センターでは、がん患者さんとそのご家族の治療上の不安や悩みに対応するため、専門の相談員を配置し、相談者の立場に立って共に考え、より良い方法を見つけるお手伝いをさせていただきます。</p> <p>当院受診中のがん患者さんとそのご家族に対して専門家(がんライフアドバイザー)による就労相談やソーシャルワーカーによる就学児の修学・復学支援相談を実施しております。がん診療に関わる一般的な医療情報や医療機関に関する情報の収集・提供、地域の病院や診療所との連携の拡大等の取り組みを通じ、患者さんが質の高い医療の提供を受けられるよう努めております。</p>
3	緩和ケアチームからのメッセージ
	<p>(例) 緩和ケアチームには、長年緩和医療に携わっている経験を積んだ医師、看護師、薬剤師が含まれ、身体的な痛みを始め、患者さんの精神的苦痛を和らげるため、担当医と連携し、最善の医療を提供します。</p> <p>小児・AYA緩和ケアチーム(子どもサポートチーム)には、医師、看護師、臨床心理士、ホスピタル・プレイ・スペシャリスト、医療ソーシャルワーカーが含まれ、身体的、精神的な苦痛を和らげることができるようなお手伝いや、社会生活を豊かに過ごすことができるような支援を行っています。</p>
4	緩和ケア病棟からのメッセージ(※緩和ケア病棟が設置されている場合のみ記載してください。)
	<p>(例) 緩和ケア病棟は、別棟となっており、全室から中庭に出ることが可能で、豊かな自然を感じて、充実した時間を過ごすことができます。</p> <p>末期がんの子ども達が、少しでも苦痛が和らぎ、残された時間を家族と共に楽しい雰囲気でも過ごせるように、USJの協力により、子供専用の病室を設けています。壁には、青空や人気キャラクターなどが描かれています。また、プレイセラピーやボランティアの協力により、遊びの時間も提供しています。</p>

臨床研究を支援する専門の各部門のメンバー

記載の有無

あり

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名: 地方独立行政法人 大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター

各部門のメンバー(個人情報に記載しないよう注意すること)

メンバー総人数: 32

各部門名		各部門のメンバーの専門性・職種
例	事務部門、データセンター部門、コーディネーター部門、治験管理室	薬事専門家、CRC、リサーチ・コンシェルジェ、生物統計家、事務担当
1	臨床研究センター統括	医師(病院長補佐、小児代謝・内分泌内科部長、遺伝子診療部部長、臨床研究センター部長兼務) 1名
2	臨床研究・治験管理室統括(委員会事務局)	事務(臨床研究センター事務長)1名、薬剤師(臨床研究センター主幹・主査)2名、治験事務局リーダー1名、治験事務局員2名、倫理審査委員会事務局員1名
3	管理部門(研究費出納管理、厚生労働省・文部科学省科研費委任経理)	事務担当3名
4	臨床研究コーディネーター(CRC)・データマネージャー(DM)部門	CRC(看護師、検査技師)4名、DM(データ入力、被験者登録業務)2名、その他、CRC(SMO支援業務委託)8名
5	研究室、遺伝子診療部	検査助手(臨床検査技師・遺伝子検査助手)4名
6	動物実験室	医師(臨床研究センター副部長、泌尿器科副部長、小児泌尿器科副部長兼務) 1名 獣医師(委託職員)2名
7		
8		
9		
10		

臨床研究の問い合わせ窓口

記載の有無

あり

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名: 地方独立行政法人 大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター

期間: 平成28年9月1日現在

【臨床試験(治験を除く)】の問い合わせ窓口																															
■臨床試験(治験を除く)に参加していない地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口の有無について											相談支援センターが窓口となっている																				
※臨床試験専用の窓がある場合に限り、以下の表に記載してください。																															
窓口の名称																															
上記の窓口の説明が掲載されているページ ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください											見出し			アドレス																	
電話											代表			(内線)																	
直通																															
1	対応曜日と対応時間											月～金曜日			時 00 分 ~ 時 00 分			時 00 分 ~ 時 00 分													
	※時間は、半角英数で24時間表記にて記載 ※土・日曜日は、対応している場合のみ記載 →「毎週」などの選択をしてください											月～金曜日の対応時間が曜日によって異なる場合											曜日			時 00 分 ~ 時 00 分			時 00 分 ~ 時 00 分		
												曜日			時 00 分 ~ 時 00 分			時 00 分 ~ 時 00 分			時 00 分 ~ 時 00 分			時 00 分 ~ 時 00 分							
												曜日			時 00 分 ~ 時 00 分			時 00 分 ~ 時 00 分			時 00 分 ~ 時 00 分			時 00 分 ~ 時 00 分							
	土曜日											時 00 分 ~ 時 00 分			時 00 分 ~ 時 00 分			時 00 分 ~ 時 00 分													
日曜日											時 00 分 ~ 時 00 分			時 00 分 ~ 時 00 分			時 00 分 ~ 時 00 分														
祝祭日、年末年始以外の休み(創立記念日など)																															
■臨床試験(治験を除く)に参加していない地域の医療機関向けの問い合わせ窓口について											相談支援センターが窓口となっている																				
※臨床試験専用の窓がある場合に限り、以下の表に記載してください。																															
窓口の名称																															
上記の窓口の説明が掲載されているページ ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください											見出し			アドレス																	
電話											代表			(内線)																	
直通																															
2	対応曜日と対応時間											月～金曜日			時 00 分 ~ 時 00 分			時 00 分 ~ 時 00 分													
	※時間は、半角英数で24時間表記にて記載 ※土・日曜日は、対応している場合のみ記載 →「毎週」などの選択をしてください											月～金曜日の対応時間が曜日によって異なる場合											曜日			時 00 分 ~ 時 00 分			時 00 分 ~ 時 00 分		
												曜日			時 00 分 ~ 時 00 分			時 00 分 ~ 時 00 分			時 00 分 ~ 時 00 分			時 00 分 ~ 時 00 分							
												曜日			時 00 分 ~ 時 00 分			時 00 分 ~ 時 00 分			時 00 分 ~ 時 00 分			時 00 分 ~ 時 00 分							
	土曜日											時 00 分 ~ 時 00 分			時 00 分 ~ 時 00 分			時 00 分 ~ 時 00 分													
日曜日											時 00 分 ~ 時 00 分			時 00 分 ~ 時 00 分			時 00 分 ~ 時 00 分														
祝祭日、年末年始以外の休み(創立記念日など)																															

【臨床試験以外の小児がんに関連する臨床研究(特にトランスレーショナルリサーチ)】の問い合わせ窓口

■臨床試験以外の小児がんに関する臨床研究に参加していない地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口の有無について 相談支援センターが窓口となっている

※臨床研究専用の窓がある場合に限り、以下の表に記載してください。

窓口の名称																							
上記の窓口の説明が掲載されているページ ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	見出し																						
	アドレス	http://																					
電話	代表							(内線)															
	直通																						
対応曜日と対応時間 ※時間は、半角英数で24時間表記にて記載 ※土・日曜日は、対応している場合のみ記載 →「毎週」などの選択をしてください	月～金曜日																						
	月～金曜日の対応時間が曜日によって異なる場合	曜日																					
		曜日																					
		曜日																					
	土曜日																						
日曜日																							
祝祭日、年末年始以外の休み(創立記念日など)																							

■臨床試験以外の小児がんに関する臨床研究に参加していない地域の医療機関向けの問い合わせ窓口について 相談支援センターが窓口となっている

※臨床研究専用の窓がある場合に限り、以下の表に記載してください。

窓口の名称																							
上記の窓口の説明が掲載されているページ ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	見出し																						
	アドレス	http://																					
電話	代表							(内線)															
	直通																						
対応曜日と対応時間 ※時間は、半角英数で24時間表記にて記載 ※土・日曜日は、対応している場合のみ記載 →「毎週」などの選択をしてください	月～金曜日																						
	月～金曜日の対応時間が曜日によって異なる場合	曜日																					
		曜日																					
		曜日																					
	土曜日																						
日曜日																							
祝祭日、年末年始以外の休み(創立記念日など)																							

【 治験 】の問い合わせ窓口																																
■ 治験に参加していない地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口について											相談支援センターが窓口となっている																					
※治験専用の窓がある場合に限り、以下の表に記載してください。																																
窓口の名称																																
上記の窓口の説明が掲載されているページ ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください											見出し		アドレス																			
											http://																					
電話											代表		(内線)																			
											直通																					
1	対応曜日と対応時間											月～金曜日	時	00	分	～	時	00	分		時	00	分	～	時	00	分					
	※時間は、半角英数で24時間表記にて記載 ※土・日曜日は、対応している場合のみ記載 →「毎週」などの選択をしてください											月～金曜日の対応時間が曜日によって異なる場合	曜日	時	00	分	～	時	00	分		時	00	分	～	時	00	分		時	00	分
													曜日	時	00	分	～	時	00	分		時	00	分	～	時	00	分		時	00	分
													曜日	時	00	分	～	時	00	分		時	00	分	～	時	00	分		時	00	分
												土曜日		時	00	分	～	時	00	分		時	00	分	～	時	00	分				
														時	00	分	～	時	00	分		時	00	分	～	時	00	分		時	00	分
												日曜日		時	00	分	～	時	00	分		時	00	分	～	時	00	分				
													時	00	分	～	時	00	分		時	00	分	～	時	00	分		時	00	分	
祝祭日、年末年始以外の休み(創立記念日など)																																
■ 治験に参加していない地域の医療機関向けの問い合わせ窓口について											相談支援センターが窓口となっている																					
※治験専用の窓がある場合に限り、以下の表に記載してください。																																
窓口の名称																																
上記の窓口の説明が掲載されているページ ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください											見出し		アドレス																			
											http://																					
電話											代表		(内線)																			
											直通																					
2	対応曜日と対応時間											月～金曜日	時	00	分	～	時	00	分		時	00	分	～	時	00	分					
	※時間は、半角英数で24時間表記にて記載 ※土・日曜日は、対応している場合のみ記載 →「毎週」などの選択をしてください											月～金曜日の対応時間が曜日によって異なる場合	曜日	時	00	分	～	時	00	分		時	00	分	～	時	00	分		時	00	分
													曜日	時	00	分	～	時	00	分		時	00	分	～	時	00	分		時	00	分
													曜日	時	00	分	～	時	00	分		時	00	分	～	時	00	分		時	00	分
												土曜日		時	00	分	～	時	00	分		時	00	分	～	時	00	分				
														時	00	分	～	時	00	分		時	00	分	～	時	00	分		時	00	分
												日曜日		時	00	分	～	時	00	分		時	00	分	～	時	00	分				
													時	00	分	～	時	00	分		時	00	分	～	時	00	分		時	00	分	
祝祭日、年末年始以外の休み(創立記念日など)																																

臨床研究の実施状況

記載の有無

あり

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名: 地方独立行政法人 大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター

臨床試験の実施総件数(平成27年1月1日～12月31日): 21

平成28年9月1日時点で公開もしくは実施されている臨床試験の実施状況について記載すること。

試験公開年月	疾患名	試験名 (倫理審査で承認を得ていたり、その他対外的な申請に用いた試験名がある場合、その試験名を正式なものとして、この欄に入力)	研究代表者所属	実施診療科	目標症例数 (すでに募集を終了した試験、試験が終了している場合は実際の登録数)	進捗状況 (募集前、一般募集中、限定募集中、参加者募集中、参加者募集終了-試験継続中、試験中止、試験終了)	多施設との協力について (JPLSGなど臨床研究グループが関与している場合はその旨記載すること)	
1	2009年5月	神経芽腫	IDRF(Image Defined Risk Factors)に基づく手術適応時期の決定と、段階的に強度を高める化学療法による、神経芽腫中間リスク群に対する第Ⅱ相臨床試験	京都府立医科大学	小児血液腫瘍科	全体73例	一般募集中	日本神経芽腫研究グループ(JNBSG)
2	2011年7月	若年性骨髄単球性白血病	若年性骨髄単球性白血病(JMML)に対する静注用Bu+Flu+L-PAM前処置法による同種造血幹細胞移植第Ⅱ相臨床試験	聖路加国際病院	小児血液腫瘍科	3	一般募集中	JPLSG
3	2011年12月	急性リンパ性白血病	乳児期発症の急性リンパ性白血病に対するリスク層別化治療の有効性に関する多施設共同第Ⅱ相臨床試験(MLL-10)	東京医科歯科大学医学部附属病院	小児血液腫瘍科	2	一般募集中	JPLSG
4	2012年1月	急性リンパ性白血病	小児難治性T細胞性急性リンパ性白血病に対するネララビン、フルダラビン、エトポシドを用いた寛解導入療法第Ⅰ/Ⅱ相臨床試験(JPLSG ALL-RT11)	聖路加国際病院	小児血液腫瘍科	3	限定募集中	JPLSG
5	2012年1月	急性リンパ性白血病	小児および若年成人におけるT細胞性急性リンパ性白血病に対する多施設共同第Ⅱ相臨床試験(JPLSG ALL-T11/JALSG T-ALL-211-U ALL-T11)	中通総合病院	小児血液腫瘍科	1	一般募集中	JPLSG
6	2012/5月	小児急性骨髄性白血病	ダウン症候群に発症した小児急性骨髄性白血病の微小残存病変検索の実施可能性とその有用性を探索するパイロット試験(AML-D11)	滋賀医科大学	小児血液腫瘍科	5	参加者募集終了-試験継続中	JPLSG
7	2013年1月	小児固形がん	小児固形がんに対するHLA-A24およびA2結合性Glypican-3(GPC3)由来ペプチドワクチン療法の臨床第Ⅰ相試験	国立がん研究センター東病院	小児血液腫瘍科	8	一般募集中	多施設共同研究への参加
8	2014年2月	小児B前駆細胞性急性リンパ性白血病	小児B前駆細胞性急性リンパ性白血病に対する多施設共同第Ⅱ相および第Ⅲ相臨床試験(JPLSG ALL-B12 Ver.2.0)	埼玉県立小児医療センター	小児血液腫瘍科	3	一般募集中	JPLSG

9	2014年5月	小児急性骨髄性白血病	小児急性骨髄性白血病を対象とした初回寛解導入療法におけるシタラピン投与方法についてランダム化比較検討、および寛解導入後早期の微小残存病変の意義を検討する多施設共同シームレス第Ⅱ-Ⅲ相臨床試験	京都大学	小児血液腫瘍科	10	一般募集中	多施設共同研究への参加
10	2014/9月	第一再発小児急性リンパ性白血病標	第一再発小児急性リンパ性白血病標準リスク群に対する第Ⅲ相国際共同臨床研究 International Study for Treatment of Standard Risk Childhood Relapsed ALL 2010 (IntReALL SR 2010) A	三重大学	小児血液腫瘍科	3	一般募集中	JPLSG
11	2014/9月	髄芽腫	髄芽腫に対する新リスク分類を用いた集学的治療のパイロット試験(第2,3版)	大阪市立総合医療センター	小児血液腫瘍科	4	一般募集中	日本小児脳腫瘍コンソーシアム(JPBTC)
12	2014/9月	非定型奇形腫様/ラブドイド腫瘍	非定型奇形腫様/ラブドイド腫瘍に対する髄注併用化学療法と遅延局所放射線治療のパイロット試験(第1,6版)	大阪市立総合医療センター	小児血液腫瘍科	2	一般募集中	日本小児脳腫瘍コンソーシアム(JPBTC)
13	2015/5月	リンパ芽球性リンパ腫	再発・治療抵抗性リンパ芽球性リンパ腫StageⅢ/Ⅳに対するDexICE治療の有効性及び安全性を検証する多施設共同第Ⅱ相臨床試験(JPLSG-ALB-R13)	山形大学	小児血液腫瘍科	1	一般募集中	JPLSG
14	2015/7月	難治性小児中枢神経系腫瘍	難治性小児中枢神経系腫瘍を対象としたがんペプチドカクテルワクチン療法第Ⅱa相臨床試験	大阪市立総合医療センター	小児血液腫瘍科	20	一般募集中	多施設共同研究
15	2015/12月	小児急性前骨髄球性白血病	小児急性前骨髄球性白血病に対する多施設共同第Ⅱ相臨床試験(AML-P13)(Ver.2.1)	東邦大学	小児血液腫瘍科	2	一般募集中	JPLSG
16	2015/12月	進行期小児リンパ芽球性リンパ腫	標準的化学療法を行った進行期小児リンパ芽球性リンパ腫の予後因子探索を主目的とした多施設共同試験(JPLSG-ALB-NHL-14)(Ver.1.0)	神戸大学	小児血液腫瘍科	2	一般募集中	JPLSG
17	2015/12月	小児慢性骨髄性白血病	分子遺伝学的完全寛解を達成した小児慢性骨髄性白血病に対するチロシンキナーゼ阻害薬中止試験(Ver.1.0)	慶応義塾大学	小児血液腫瘍科	2	一般募集中	JPLSG
18	2016/1月	小児固形がん	再発小児・AYA(Adolescent and Young Adult)世代固形腫瘍に対するイリノテカン+ゲムシタピン(IG)の第Ⅰ/Ⅱ相試験	沖縄県立南部医療センター	小児血液腫瘍科	3	一般募集中	多施設共同研究
19	2016/2月	小児ホジキンリンパ腫	小児ホジキンリンパ腫に対するFDG-PET検査による初期治療反応性判定を用いた治療法の効果を確認する第Ⅱ相試験(HL-14)研(Ver.1.0)	九州大学	小児血液腫瘍科	3	一般募集中	JPLSG
20	2016/3月	小児悪性骨軟部腫瘍	再発骨肉腫に対するゲムシタピン+ドセタキセル(GD)とテモゾロミド+エトポシド(TE)のランダム化第Ⅱ相試験((Ver.2.1)	国立がん研究センター東病院	小児血液腫瘍科	5	一般募集中	多施設共同研究への参加

臨床試験以外の臨床研究実施総件数(平成27年1月1日～12月31日):

0

平成28年9月1日時点で公開もしくは実施されている臨床試験以外の小児がんに関連する臨床研究(特にトランスレーショナルリサーチ)の実施状況について記載すること。

研究開始時期	研究名	研究代表者・所属	実施診療科	研究概要
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

治験の実施総件数(平成27年1月1日～12月31日):

5

平成28年9月1日時点で公開もしくは実施されている治験の実施状況について記載すること。

	担当診療科	プロトコール件数 <small>※プロトコール件数とは、被験者の登録状況に関わらず、昨年度、実施期間中であつたプロトコールの件数を記載してください。</small>	対象疾患名
1	小児血液腫瘍科	5	急性リンパ性白血病、神経芽腫、小児固形癌
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

教育支援、復園・復学支援の状況

記載の有無

あり

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名: 地方独立行政法人 大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター

教育支援、復園・復学支援の状況について記載すること。

このシートに貼付することが難しい場合、**ファイル名の頭に別紙27を付けた**電子ファイル、別添資料を提出すること。

別添資料の提出有無

あり

(あり/なし)

ファイル形式

PDF

(ワード/一太郎/リッチテキスト/エクセル/パワーポイント/PDF/その他)

その他の場合ファイル形式を記載してください。

復学(復園)支援は教員(療養相談室、院内学級)、MSWが担当。

《入院時アンケート実施》

入院時、「療養生活を支えるシート」(別添①)を配布し、病院と関係機関が連携しながら支援していくことを説明。また、院内学級においても、アンケート「分教室聞きとり事項」(別添②)を実施し、スムーズに入院生活がスタートできるよう配慮している。

《入院時カンファレンスの実施》

治療方針決定時、原籍校の担任教諭、管理職教諭、養護教諭の参加を依頼し、患児、保護者、主治医、病棟看護師、分教室担任教諭・MSWによるカンファレンスを開催。治療内容・治療期間、患児と保護者の不安なこと、入院中の学校の関わり等について、互いに理解を深める。

※入院時カンファレンスを開催することで、患児が積極的に治療に取り組む姿がみられ、予定よりも、早く退院を迎えることができたりしています。

《入院中》

月1回主治医、分教室教諭、MSWで会議を開き、情報を共有する。

《退院時カンファレンスの実施》

退院前に入院時と同じメンバーで構成(必要に応じて他の専門職(臨床心理士・HPS・保育士・薬剤師・リハビリの先生等)も出席)で退院にむけてのカンファレンスを開催。主治医より、病状と今後の外来通院について、学校で注意すること等を説明し、それを受けて、学校側、または患児・保護者から質問をうけ、共通の理解とする。復学の時期、周りに病気のことをどのように話すか等、本人の思いを尊重しながら、学校側と話し合い、不安なく復学できるよう支援する。

《退院後》

週に一回、外来看護師殿カンファレンスを開催し、患児と家族の様子を確認、情報共有し、必要に応じて調整を行う。

入学や進級時等環境が大きく変わるときには、特に注意して関わり、必要に応じて個別のカンファレンスを開催し、患児が安心して通学できる環境をつくる。

外来学習支援「てらこや」を毎週1回開いて、大学生の学習ボランティアさんにわからないところを教えてもらっている。

退院後の学習のフォローと退院後の交流の場になっている。

どの患児も、復学後はなんとか環境に馴染めているが、他のこどもより劣っていると感じたり、同じようにできなかったりすることに対して劣等感を感じる事が多いので、患児の思いに耳を傾け、寄り添っていけるよう各専門職が連携しながら支援する。

長期滞在施設またはこれに準じる施設

記載の有無 あり

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名：地方独立行政法人 大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター

病院からの距離、施設内の設備（調理スペース、ランドリー、プレイルーム等）、人の配置等について記載すること。必要に応じて写真を貼付することも可。**1枚におさめること。**

このシートに貼付することが難しい場合、**ファイル名の頭に別紙28を付けた**電子ファイル、別添資料を提出すること。

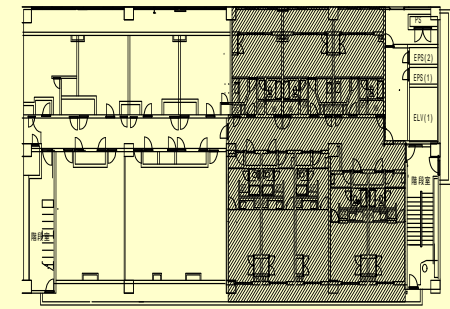
別添資料の提出有無 なし (あり/なし)
 ファイル形式 (ワード/一太郎/リッチテキスト/エクセル/パワーポイント/PDF/その他)
 その他の場合ファイル形式を記載してください。

場 所	都島センタービル 8階
	〔所在地〕大阪市都島区中野町2丁目
	大阪市立総合医療センター隣接ビル
	(同一敷地内 西側)
	病院正面玄関から114m、徒歩2分
広 さ	面積：28.27㎡～29.89㎡
	間取り：すべて1K（バルコニー有り）
部屋数	全8室
設 備	冷暖房完備、フローリング床、キッチン、バス、トイレ付。
備付備品	テレビ、冷蔵庫、湯沸かしポット、掃除機、テーブル、ふとん
	洗濯機、乾燥機は病棟にあり。
使用料	一泊当たり1人1,000円
その他	施設の管理・運営は病院(直営)による。

〔周辺地図〕



〔施設(8階)間取り〕



(網かけ部分)

〔施設内の風景〕



※当センター附属施設以外に、これに準ずる施設としてアフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)とがんとの子供を守る会が運営する『アフラックペアレンツハウス大阪』(URL http://www.aflac.co.jp/corp/mesena/parentshouse_04.html)も案内している。